ならしの消防

消防年報

（令和元年（平成３１年）版）

「薬師寺消防訓練」

奈　良　市　消　防　局

（令和２年刊行）

は　じ　め　に

消防局長　西　岡　光　治

奈良市消防局は、消防行政の実態を紹介するために昭和５６年から毎年消防年報を刊行しております。

創刊以来、日々社会経済情勢は変化しており、本市の消防行政もそれに対応すべくソフト、ハード両面にわたって刷新しつづけています。

この年報では、新しく変わりつつある奈良市消防の現在のすがたをわかりやすく紹介するため業務内容、火災・救急統計等を系統別に収録し分析しています。

なお、この年報において、何年中とあるのは暦年間（１月１日から１２月３１日）、何年度とあるのは会計年度（４月１日から３月３１日）をいい、原則として、予算関係は会計年度、それ以外のものについては、令和２年４月１日現在の現況及び暦年で取りまとめました。

今後における消防行政推進の資料として活用いただければ幸いです。

奈 良 市 消 防 局

目　次

消防情勢 1

1　奈良市の概要 2
2　奈良市消防の沿革 3
3　消防機関配置図 8
(1)　局、署所配置図 8
(2)　消防施設 9

総務関係 11

4　奈良市消防局の組織 12
5　事務分掌 13
6　消防予算 17
(1)　一般会計予算額と消防費との比較 17
(2)　消防費予算の一般会計に対する比率の推移 17
(3)　消防予算の内訳及び前年度との比較(当初予算) 18
(4)　消防費に対する人口・世帯当たりの額 18
(5)　消防費性質別予算額 18
7　職員の階級別配置状況 19
8　職員の階級別勤続年数調べ 20
9　職員の階級別年令調べ 21
10　職員の研修状況 22
11　奈良市消防音楽隊の概要 23
(1)　音楽隊員の配置状況 23
(2)　音楽隊の編成状況 23
(3)　音楽隊の活動状況 25

防災センター関係 26

12　奈良市防災センター 27
(1)　防災センター 27
(2)　概要 27
(3)　入館状況 28
(4)　施設利用状況 28

警防関係 29

13　警防概要 30
14　警防概況 31
15　署別警防出動状況 32
16　月別警防出動状況 33
17　消防車両等の配備状況 34
18　消防水利状況 35

(1)　消火栓 35
(2)　防火水槽 35
(3)　その他の水利 35

通信関係 36

19　通信施設 37
(1) 基地局 37
(2) 無線電話の現状 38
(3) 有線電話 39
(4) １１９番着信件数 40
(5) １１９番通報種別割合 41
(6) テレフォンガイド利用数 41
(7) 月別気象状況(消防局) 42
(8) 月別気象状況(東消防署) 43

救急関係 44

20　救急概要 45
21　救急資器材 46
22　救急概況(前年との比較) 47
23　署別救急出場状況 48
24　署別救急出場件数 49
25　月別救急出場状況 50
26　時間別救急出場状況 51
27　傷病程度別搬送人員 52
28　救急隊員の行った応急処置回数 53
29　救急救命士による特定行為実施状況 54
30　診療科目別搬送人員 54
31　過去５ヵ年の事故別救急出場状況 55

救助関係 56

32　救助概要 57
33　高度救助用資機材 58
34　救助資機材 59
35　救助概況(前年との比較) 60
36　署別救助出動状況 61
37　月別救助出動状況 62
38　発生場所別救助出動状況 63

予防関係 64

39　防火対象物一覧 65
40　用途別中高層建築物状況 67
41　消防同意処理状況 69

42　過去５ヵ年の建築同意処理件数状況 69
43　消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況 70
44　類別、数量別危険物施設数 72
45　危険物施設数及び各種許認可処理状況 73
46　奈良市所在の指定文化財等 74
47　火災予防広報等活動状況 75
48　女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状 76
（1）女性防災クラブ 76
（2）幼年消防クラブ 77
（3）奈良市ジュニア防災クラブ 77
火災統計 78
49　火災概要 78
50　火災概況(前年との比較) 79
51　署別火災概況 80
52　過去５ヵ年の火災状況 81
53　校区別火災状況 82
54　気象別火災状況 83
（1）風速別 83
（2）湿度別 83
55　覚知方法別火災状況 83
56　曜日別火災状況 83
57　覚知時間別火災状況 84
58　月別火災状況 85
59　用途別・原因別火災状況 86
消防団関係 87
60　奈良市消防団の組織 88
61　消防団員の階級別定員数 90
62　消防団員の新任状況 91
63　消防団員の退職状況 91
64　在職年数別消防団員数 92
65　消防団員の職業状況 92
66　消防団員の表彰状況 93
67　消防団員の出動状況 93
68　消防団機械器具等配備状況 94
69　消防団員の報酬、費用弁償 95

※ グラフ中の数値が「０」の場合（合計欄の「０」は表記あり）は空白としています

消　防　情　勢

「令和２年奈良市消防出初式」

１　奈良市の概要

奈良市は、大和青垣国定公園、奈良公園、矢田自然公園など美しい自然のなかに位置し、特に特別天然記念物に指定されている春日山原始林をはじめとする緑の環境に恵まれています。

明治３１年２月市制施行当初、市域面積２３．４４Ｋ㎡、人口３万人足らずでしたが、大正１２年４月添上郡佐保村の編入をはじめとし、６回にわたり町村が編入されました。また、平成の合併では平成１７年４月１日に月ヶ瀬村と都祁村が編入し新しい奈良市がスタートしました。

現在、市域面積は２７６．９４Ｋ㎡に拡大され、人口も３６万人近くになります。

その間、昭和２５年には国際文化観光都市を宣言し、昭和４１年には正倉院周辺春日奥山に古都保存法が適用され、歴史都市として個性ある街づくりをしています。

千三百年近くを生きる木造建築物など、奈良のまちには、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめ、数多くの歴史的遺産があります。これらは、先人たちが学術・芸術・技術の粋を集めて創り上げ、平城京で花開いた人類共有の貴重な宝です。

こうした美しく豊かな自然と、今日まで先人たちが守り伝えてくれた文化財の防火をはじめ、多様化した市民のニーズに十分応えうる都市基盤や社会資本の充実、そして災害に強いまちづくりの建設、またそれにふさわしい行政の施策展開のための体制づくりが急務となっており、いにしえに学んだ知恵を活かしながら、国際都市として、また近畿圏における中枢都市としてさらなる発展を続けています。

人口・世帯数の推移

年　別（年）	面積（Ｋ㎡）	世帯数	１世帯当たり平均世帯人員	人　口			人口密度（㎢当たり）	摘　　要
				男	女	計		
大正 9	23.44	8,737	4.61	20,270	20,031	40,301	1,719	国勢調査 10 月 1 日
14	29.92	10,369	4.71	25,033	23,846	48,879	1,634	〃
昭和 5	29.92	11,336	4.66	26,195	26,589	52,784	1,764	〃
10	29.92	11,840	4.73	27,594	28,374	55,968	1,871	〃
15	29.80	12,332	4.64	27,477	29,796	57,273	1,922	〃
20	39.52	16,430	4.25	31,417	38,398	69,815	1,767	人口調査 11 月 1 日
22	39.52	17,708	4.65	42,512	39,887	82,399	2,085	臨時国勢調査 10 月 1 日
25	39.52	17,487	4.45	38,097	39,769	77,866	1,970	国勢調査 10 月 1 日
30	121.22	25,552	4.53	55,322	60,352	115,674	954	〃
35	210.33	31,026	4.34	65,548	69,029	134,577	640	〃
40	211.91	40,738	3.94	77,865	82,776	160,641	758	〃
45	211.91	57,111	3.65	100,561	107,705	208,266	983	〃
50	211.91	73,651	3.50	124,773	132,765	257,538	1,215	〃
55	211.91	90,821	3.28	144,250	153,703	297,953	1,406	〃
60	211.91	100,798	3.25	157,989	169,713	327,702	1,546	〃
平成 2	211.61	112,990	3.09	167,310	182,039	349,349	1,651	〃
7	211.60	123,718	2.90	171,926	187,292	359,218	1,698	〃
12	211.60	133,774	2.74	173,652	192,533	366,185	1,731	〃
16	211.60	143,052	2.56	174,539	191,756	366,295	1,731	４月１日 現　在
17	276.84	140,462	2.63	174,469	195,633	370,102	1,336	〃
18	276.84	147,888	2.51	176,769	195,141	371,910	1,343	〃
19	276.84	149,230	2.49	176,021	194,831	370,852	1,340	〃
20	276.84	150,626	2.45	175,194	194,514	369,708	1,335	〃
21	276.84	151,965	2.43	174,334	194,258	368,592	1,331	〃
22	276.84	153,361	2.40	173,981	194,116	368,097	1,330	〃
23	276.84	154,902	2.37	173,632	194,085	367,717	1,328	〃
24	276.84	155,968	2.35	172,881	193,548	366,429	1,324	〃
25	276.84	156,045	2.34	172,026	192,810	364,836	1,318	〃
26	276.84	157,276	2.32	171,773	192,553	364,326	1,316	〃
27	276.94	158,268	2.29	170,927	192,124	363,051	1,311	〃
28	276.94	159,297	2.27	170,012	191,411	361,423	1,305	〃
29	276.94	160,242	2.24	169,045	190,621	359,666	1,299	〃
30	276.94	161,392	2.22	168,225	189,930	358,155	1,293	〃
31/令和 1	276.94	162,380	2.19	167,210	189,142	356.352	1,287	〃
令和 2	276.94	163,991	2.17	166,714	188,815	355,529	1,284	〃

注）　平成 26 年 10 月 1 日　国土地理院より市域面積の新数値が公表される。

２　奈良市消防の沿革（平成元年以降、明治～昭和については奈良市消防沿革史にて保管）

平成　元年　４月　第六代消防長に森井堯運氏就任
警防課に特別消防救助隊を設置
８月　法蓮町９２６番地の４に東消防署佐保出張所を移転
１１月　秋の火災予防運動初日（１１月９日）に三条通りを初の防火パレード実施
１２月　防災指導車購入
２年　４月　消防職員定数　２６０名
９月　中消防署西大寺出張所改築工事のため、二条町二丁目８０番地の３に仮出張所を設置
第１回救急展を奈良そごうにおいて実施
３年　３月　５０ｍ級梯子車購入
４月　消防職員定数　２７０名
７月　患者等搬送事業乗務員講習会実施
４年　１月　中消防署西大寺出張所改築完成
４月　消防職員定数　２８８名
右京二丁目１番地の１に中消防署北出張所新設、同所に３５ｍ級梯子車配備
東消防署佐保出張所に救急車配備
５月　第１回救急救命士国家試験合格　１名
６月　学園前保育園幼年消防クラブ発足　５０名
１１月　第２回救急救命士国家試験合格　１名
５年　３月　日本損害保険協会より救急普及啓発広報車の寄贈
４月　消防職員定数　３０２名
高規格救急車（１台）購入　救急救命士の業務開始
６月　みずほ保育園幼年消防クラブ発足　３０名
１０月　日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（ＣＤ－１）の寄贈
６年　４月　消防職員定数　３１７名
応急手当普及啓発活動の開始
第５回救急救命士国家試験合格　１名
７年　１月　阪神大震災が発生し応援要請を受け職員を派遣
４月　第七代消防長に古田育宏氏就任
第７回救急救命士国家試験合格　１名
消防職員定数　３４４名
７月　財団法人奈良市防災センター設立　初代理事長に森井堯運氏就任
８月　奈良市防災センター（消防本部同一敷地内）運用開始
８年　３月　通信指令室を奈良市防災センター３階に移転し奈良市消防通信指令総合システム運用開始
災害対応特殊救急車（１台購入）　東消防署に配備
警防課に後方支援車を配備
４月　第八代消防長に林茂樹氏就任
大柳生町１２３２番地に東消防署東部出張所新設
６出張所の所長に消防司令を配置
通信指令室に管理係を設置
第９回救急救命士国家試験合格　２名
消防職員定数　３４４名
５月　県下の消防本部を設置している市町村相互間において、奈良県消防広域相互応援協定締結
９年　２月　特別表彰「まとい」受章
４月　消防職員定数　３５４名
消防署の主幹を廃止し、副署長を置く。
４月　第１１回救急救命士国家試験合格　１名
東大阪市、生駒市及び奈良市は、第二阪奈有料道路における消防相互応援協定を締結

５月　情報収集用二輪車（オフロードバイク）３台購入
１０年　２月　市政１００周年を迎える。
３月　ならまち消防ポンプ収納庫設置（飛鳥小学校）
４月　消防長事務取扱に桐木弘助役就任
奈良市消防本部を奈良市消防局に名称変更
中消防署北出張所を北消防署に昇格
警防課特別消防救助隊を救急救助課に改組
通信指令室を指令課に名称変更
文化財防災官１名（消防司令長）を設置
第１３回救急救命士国家試験合格　１名
奈良県防災ヘリコプター導入に伴い隊長（司令長級）１名派遣
７月　第四代消防団長に辰巳道憲氏就任
１０月　愛の園保育園幼年消防クラブ発足　１０名
中登美保育園幼年消防クラブ発足　３７名
１１月　第１４回救急救命士国家試験合格　１名
１２月　「古都奈良の文化財」８資産群がユネスコの世界遺産に登録
１１年　３月　第九代消防長に松田久雄氏就任
西消防署に高規格救急車を配備
防災ヘリコプター運用に伴い、奈良県（防災航空隊）と奈良県防災ヘリコプター応援協定を締結
４月　消防局に理事を置く。
指令課を三部制にし、指令第三係を新設
世界遺産登録社寺（６社寺）に小型動力ポンプを配備　６台
第１５回救急救命士国家試験合格　３名
１２年　４月　消防局に職員課及び職員厚生係を新設し、消防総務部（総務課、職員課）と生活安全部（警防課、救急救助課、予防課、指令課）に改組
東消防署佐保出張所を北消防署佐保出張所に変更
５月　第１７回救急救命士国家試験合格　１名
１１月　第１８回救急救命士国家試験合格　１名
１３年　４月　４出張所（南部、東部、西大寺、佐保）を分署に名称変更し南部分署に救急隊を配置
東・中消防署に特別救助隊各１隊配置
国際消防救助隊に隊員８名が登録
第４回全国消防音楽隊フェスティバル参加（神戸市）
５月　第１９回救急救命士国家試験合格　１名
１１月　高所救助放水車購入
１４年　４月　奈良市が中核市に移行
第２１回救急救命士国家試験合格　２名
１１月　消防音楽隊が発足１５周年記念「市民ふれあいコンサート」を開催
１５年　４月　第十代消防長に佐賀勝彦氏就任
第２３回救急救命士国家試験合格　２名　計１９名
１５年　５月　第２４回救急救命士国家試験合格　１名　計２０名
１６年　４月　第２５回救急救命士国家試験合格　１名　計２１名
７月　平成１６年７月福井豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊として奈良市消防局から１１名が福井県福井市及び足羽郡美山町（現福井市美山町）へ出動
１０月　第２６回救急救命士国家試験合格　１名　計２２名
第５回全国消防音楽隊フェスティバル参加（浜松市）
１２月　消防職員定数３９４人
１７年　２月　東消防署に高規格救急車を配備
３月　西消防署に３０ｍ級梯子付消防自動車を配備
４月　奈良市・都祁村・月ヶ瀬村が合併
東消防署を中央消防署に、中消防署を南消防署に変更

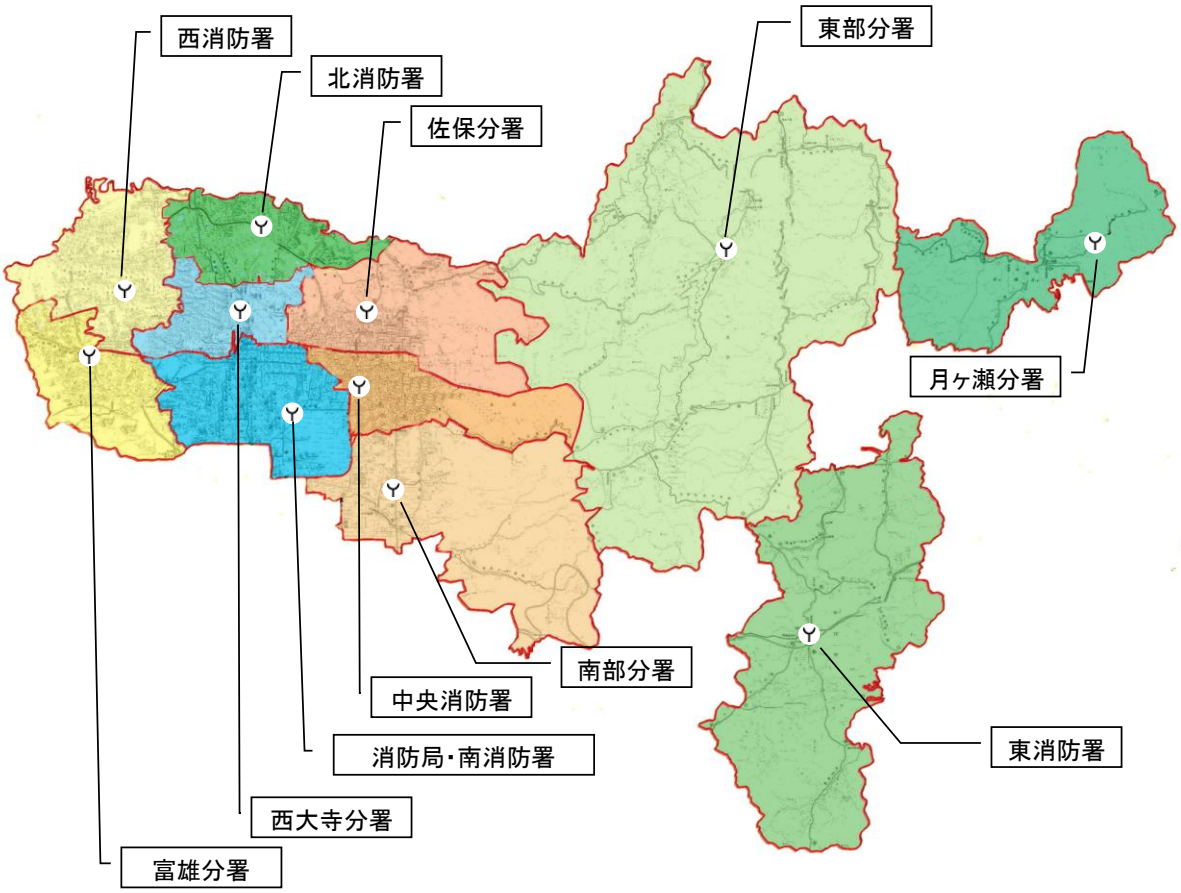
山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ都祁消防署を東消防署に、山辺広域行政事務組合消防本部より引継いだ月ヶ瀬分遣所を東消防署月ヶ瀬分署として運用開始
北消防署佐保分署を中央消防署佐保分署に、中消防署西大寺分署を南消防署西大寺分署に変更（消防体制：５消防署５分署１出張所）
第五代消防団長に窪田康男氏就任
第２７回救急救命士国家試験合格　１名　計２３名
８月　奈良県遊技業協同組合より指令車（１台）寄贈され、中央消防署に配備
１８年　３月　高規格救急車（１台）購入　中央消防署に配備
奈良市消防通信指令システムが更新され運用開始
中央消防署新庁舎（奈良市西木辻町）が完成し運用開始
４月　専任女性救急隊員２名（隔日勤務）を中央消防署に配置
第２８回救急救命士国家試験合格　２名　計２５名
５月　第２９回救急救命士国家試験合格　３名　計２８名
６月　奈良県遊技業協同組合より指令車（１台）寄贈され、警防課に配備
１９年　４月　第十一代消防長に猪岡秀夫氏就任
第六代消防団長に黒文雄氏就任
専任女性救急隊員１名（隔日勤務）を南消防署に配置
５月　第３０回救急救命士国家試験合格　３名　計３１名
２０年　４月　消防職員定数３９４人
部制（消防総務部、生活安全部）を廃止し災害対策室を設置する。
局及び署を担当する次長を置く。
職員課を廃止
総務課においてグループ制を導入
警防課を消防課に名称変更し、消防係と防災係を統合し消防防災係に、機械係を施設係に変更
予防課において予防係と査察係を統合し予防査察係に、建築係と危険物係を統合し指導係に変更
消防署において警防係を消防救急係に、救急救助係を救助係に、分署において警防救急係を消防救急係に、出張所において警防係を消防係に変更
総務省消防庁へ職員１名派遣
奈良市消防音楽隊に副隊長を置く。
５月　第３１回救急救命士国家試験合格　３名　計　３４名
２１年　３月　消防音楽隊に演奏活動用新型バスが配備
４月　消防職員定数３９４人
救急救助課を救急課に名称変更し、救急係及び救助係を廃止し、救急管理係、救急指導係を置く。消防課に救助係を置く。
中央消防署及び西消防署に３部制の救急隊を置く。
奈良市消防団に初の女性消防分団（広報指導分団３９名）が発足
５月　第３２回救急救命士国家試験合格　３名　計　３７名
７月　奈良県遊技業協同組合より救急車（１台）寄贈され、西大寺分署に配備
２２年　２月　東消防署月ヶ瀬分署にＣＤＩ型消防ポンプ自動車を配備
３月　南消防署に救助工作車Ⅲ型を配備
４月　第十二代消防長に野口隆身氏就任
消防職員定数４１２人
消防局に救急業務及び指令管制業務を統括する情報救急室を新設し、情報救急室（救急課、指令課）と災害対策室（消防課、予防課）に改組
消防局全課にグループ制（担当制）を導入
次長（消防局、消防署担当）を廃止し、副局長、消防危機統制監を置く。
総務省消防庁へ職員１名派遣
消防課に指揮救助隊を置く。
南消防署に高度救助隊を配置
西消防署富雄出張所を西消防署富雄分署に変更し救急隊を配置

中央消防署及び西消防署の救急隊を２部制に変更
西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
５月　第３３回救急救命士国家試験合格　　４名　計４１名
６月　中央消防署に災害対応特殊救急車を配備
７月　第１６回全国女性消防団員活性化奈良大会を開催
１０月　第６回全国消防音楽隊フェスティバルを開催（全国より２１隊出演）
市立奈良病院にドクターカーを配備し運用を開始（週３日）
１１月　第２２回全国消防操法大会（愛知県蒲郡市）に奈良市消防団柳生分団が出場
２３年　２月　東消防署東部分署にＣＤＩ型消防ポンプ自動車を配備
東消防署に救助工作車Ｉ型を配備
３月　消防団ＬＩＶＥ２０１１ｉｎ奈良を開催
東北地方太平洋沖地震が発生し、緊急消防援助隊奈良県隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から６２名が宮城県亘理郡山元町へ出動
４月　消防職員定数４１２人
消防課指揮救助隊のかいに指揮支援隊を置く。
消防署組織の係制を廃止し、担当及び小隊制を導入するとともに、複数小隊を管理する中隊長を置く。
東消防署に高規格救急車を配備
日本消防協会へ職員１名派遣
ドクターカーの運用を週３日から週４日に変更
５月　全国共済農業協同組合連合会奈良県本部より高規格救急車（１台）寄贈され西消防署に配備
第３４回救急救命士国家試験合格　　３名　計４４名
２４年　４月　第十三代消防長に徳岡泰博氏就任
消防職員定数４１２人
（財）奈良市防災センターが解散し、総務課のかいに防災センターを置く
ドクターカーの運用を週４日から週５日に変更
総務省消防庁へ職員１名派遣
第３５回救急救命士国家試験合格　　３名　計４６名
５月　消防課に指揮支援車を配備
９月　総務省消防庁より燃料補給車配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
１１月　奈良市消防局、相楽中部消防組合消防本部で初の「合同消防フェア」を開催
２５年　３月　第１回奈良市消防団活性化大会を開催し県下で初めて消防団協力事業所を認定
総務省消防庁より支援車Ｉ型配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
４月　消防職員定数４１２人
第七代消防団長に川嵜政信氏就任
第３６回救急救命士国家試験合格　　３名　計４９名
総務省消防庁より可搬型衛星基地局配備（緊急消防援助隊活動用車両として無償使用）
９月　西消防署新庁舎が完成（鶴舞西町）し運用開始
１１月　消防団１２０周年・自治体消防６５周年記念奈良県消防大会
１２月　日本消防協会より防災活動車配備
２６年　３月　総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車及び資機材保管備蓄倉庫一式配備
第２回奈良市消防団活性化大会を開催
南消防署に２０ｍ級屈折はしご付消防車を配備
４月　第十四代消防長に酒井孝師氏就任
消防職員定数４１２人
ドクターカーの運用を週５日から週６日に変更
第３７回救急救命士国家試験合格　　３名　計５８名（新規採用者含む）
総務省消防庁へ職員１名派遣
５月　救急隊による搬送先病院、直接交渉開始
８月　「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」に参加
１０月　女性防災クラブ３０周年記念式典をならまちセンターで開催

２７年　２月　第３回奈良市消防団活性化大会「消防団とＤＭＡＴ・ＤＰＡＴ合同訓練」を実施
　　４月　消防職員定数４１２人
　　第３８回救急救命士国家試験合格　　４名　計６２名（新規採用者含む）
　　１２月　災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入し中央消防署に配備
２８年　２月　第４回奈良市消防団活性化大会「消防団とＤＭＡＴ・ＤＰＡＴ合同訓練」を実施
　　３月　西消防署に救助工作車Ⅱ型を配備
　　４月　消防職員定数４１２人　（実員数３８５人）
　　消防局組織改編を実施し当直勤務者のシフトを２部制から３部制に変更
　　奈良市生駒市消防指令センター共同運用開始
　　総務省消防庁へ職員１名派遣
　　第３９回救急救命士国家試験合格　　５名　計６５名
　　１０月　緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を奈良県で開催
　　１２月　消防本部における女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的広報として「ワンデイインターンシップ京都会場」にブース初出展
２９年　２月　第５回奈良市消防団活性化大会「奈良市消防団を中核とした地域防災力強化訓練」を開催
　　南消防署に高規格救急車を配備
　　３月　消防庁長官竿頭授受賞
　　第７回全国消防音楽隊フェスティバル参加（豊中市）
　　４月　第十五代消防長に藤村正弘氏就任
　　消防職員定数４１２人　（実員数３７８人）
　　第４０回救急救命士国家試験合格　　３名　計７０名（新規採用者含む）
　　１１月　西消防署富雄分署に高規格救急車を配備
３０年　２月　第６回奈良市消防団活性化大会「～守ろう我が町、我が地域～」を開催
　　中央消防署南部分署にＣＤＩ型消防ポンプ自動車を配備
　　４月　消防職員定数４１２人　（実員数３７４人）
　　総務省消防庁へ職員１名派遣
　　第４１回救急救命士国家試験合格　　３名　計７４名（新規採用者含む）
　　月ヶ瀬分署に救急救命士を配置し５署６分署すべてに救急救命士を配置
　　７月　平成３０年７月豪雨に伴い、緊急消防援助隊奈良県大隊（第三次隊まで派遣）として奈良市消防局から６０名が岡山県倉敷市真備町へ出動
　　１１月　全国初の取組みとして「市民メディカルラリー」２０１８を第７回奈良市消防団活性化大会と併せてイオンモール高の原にて開催
３１年　１月　中央消防署に高規格救急車を配備
　　２月　中央消防署佐保分署にＣＤＩ型消防ポンプ自動車を配備
　　３月　西消防署にＩ－Ｂ型水槽付き消防ポンプ自動車を配備
　　４月　第十六代消防長に西岡光治氏就任
　　消防職員定数４１２人　（実員数３７５人）
　　第八代消防団長に中室貞浩氏就任
　　第４２回救急救命士国家試験合格　　３名　計８２名（新規採用者含む）
令和　元年　７月　相楽中部消防組合とはしご付消防自動車の共同運用連携協約を締結
　　１１月　奈良市ジュニア防災クラブ結成
　　２年　２月　西消防署に災害対応特殊救急自動車を配備
　　第８回奈良市消防団活性化大会「令和元年度消防団長会北和ブロック訓練」を布目ダムにて開催
　　３月　中央消防署南部分署に高規格救急自動車を配備
　　４月　消防職員定数４１２人　（実員数３８４人）
　　総務省消防庁へ職員１名派遣
　　第４３回救急救命士国家試験合格　　３名　計８３名（新規採用者含む）

３　消防機関配置図

（１）局、署所配置図



市　勢

面　積	２７６．９４ｋ㎡		東西　３３．５１ｋｍ	南北　２２．２２ｋｍ
	東　　経		１３５°４８′	
	北　　緯		３４°４１′	
人　口	令和２年		令和元年（平成３１年）	前年との比較
	男	１６６，７１４人	１６７，２１０人	△４９６
	女	１８８，８１５人	１８９，１４２人	△３２７
	計	３５５，５２９人	３５６，３５２人	△８２３
世　帯　数		１６３，９９１	１６２，３８０	１，６１１

（人口・世帯数は各年４月１日現在）

（２）　消防施設

消防局・南消防署併設庁舎

中央消防署

西消防署

北消防署

東消防署

防災センター

南消防署西大寺分署

中央消防署南部分署

中央消防署佐保分署

西消防署富雄分署

東消防署東部分署

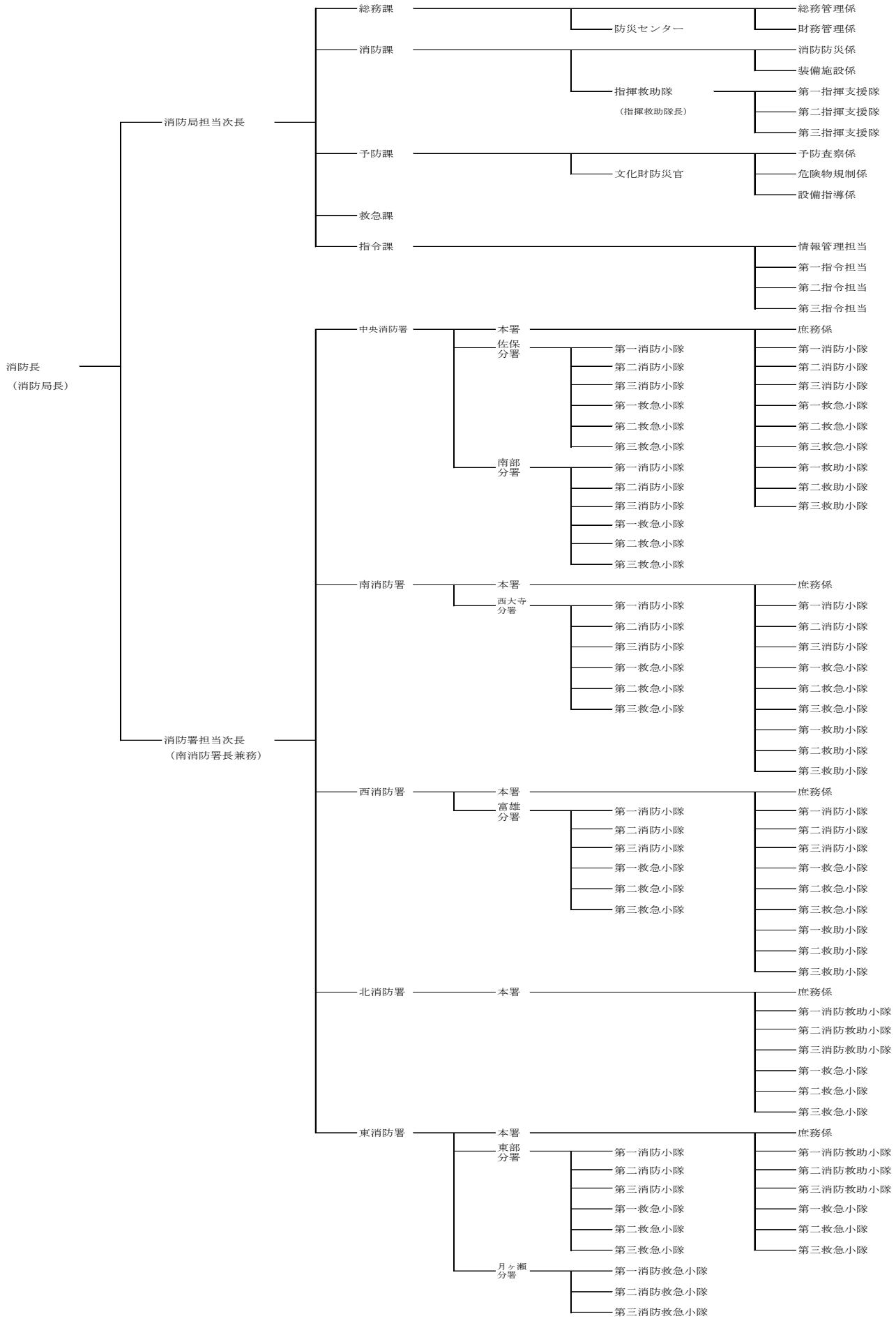
東消防署月ヶ瀬分署

施　設　名	所　在　地	構　造	敷地面積 (㎡)	建物延べ面積 (㎡)	竣工年月日
消防局・南消防署	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1191(代表)	ＲＣ造 ５階建	6,622.12	2,431.65	昭和 58 年 10 月
南消防署西大寺分署	二条町二丁目 1 番 1 号 0742(33)4605	ＲＣ造 ３階建	454.80	564.33	平成４年１月
中　央　消　防　署	西木辻町 43 番地の 1 0742(22)7051	ＲＣ造 ３階建	1,333.05	1,405.20	平成 18 年３月
中央消防署佐保分署	法蓮町 926 番地の 4 0742(22)7055	ＲＣ造 ２階建	1,471.05	399.75	平成元年８月
中央消防署南部分署	横井五丁目 497 番地の 3 0742(61)7025	ＲＣ造 ２階建	1,088.93	500.40	昭和 62 年４月
西　消　防　署	鶴舞西町 1 番 19 号 0742(45)7621	ＲＣ造 ２階建	2,144.40	1,185.69	平成 25 年９月
西消防署富雄分署	三碓六丁目 10 番 40 号 0742(47)7119	ＲＣ造 ２階建	1,234.99	500.40	昭和 60 年 12 月
北　消　防　署	右京二丁目 1 番地の 1 0742(71)9119	ＲＣ造 ２階建	4,218.19	1,008.87	平成４年３月
東　消　防　署	針町 647 番地の 1 0743(82)0513	ＲＣ造 ２階建	1,469.95	587.05	昭和 53 年５月
東消防署東部分署	大柳生町 1232 番地 0742(93)0119	ＲＣ造 ２階建	1,019.66	492.36	平成８年３月
東消防署月ヶ瀬分署	月ヶ瀬尾山 3395 番地の 2 0743(92)0945	ＲＣ造 ２階建	559.00	249.09	昭和 57 年４月
防 災 セ ン タ ー	八条五丁目 404 番地の 1 0742(35)1106	ＳＲＣ造 ４階建	消防局 同一敷地	3,021.37	平成７年６月

総　務　関　係

「全職員研修会」

4　奈良市消防局の組織


消防長
（消防局長）
消防局担当次長
総務課
総務管理係
財務管理係
防災センター
消防課
消防防災係
装備施設係
指揮救助隊
（指揮救助隊長）
第一指揮支援隊
第二指揮支援隊
第三指揮支援隊
予防課
予防査察係
危険物規制係
設備指導係
文化財防災官
救急課
指令課
情報管理担当
第一指令担当
第二指令担当
第三指令担当
消防署担当次長
（南消防署長兼務）
中央消防署
本署
庶務係
第一消防小隊
第二消防小隊
第三消防小隊
第一救急小隊
第二救急小隊
第三救急小隊
第一救助小隊
第二救助小隊
第三救助小隊
佐保分署
南部分署
南消防署
西大寺分署
西消防署
富雄分署
北消防署
第一消防救助小隊
第二消防救助小隊
第三消防救助小隊
東消防署
東部分署
月ヶ瀬分署

5　事務分掌

<table>
<tr><td rowspan="7">消
防
局</td><td colspan="2">総　務　課</td><td>1．公印の管守に関すること。
2．文書の収発及び保存整理に関すること。
3．消防長会に関すること。
4．消防団に関すること。
5．局の総合企画及び基本施策に関すること。
6．消防関係条例、規則、規程等の審査及び制定改廃手続に関すること。
7．消防統計に関すること。
8．業務改善及び事務能率の増進に関すること。
9．消防音楽隊に関すること。
10．消防広報に関すること。
11．市民の要望及び相談の処理に係る事務の統轄に関すること。
12．職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関すること。
13．職員の配置及び勤務に関すること。
14．職員の給与、その他の給付の規定、裁定及び支給に関すること。
15．表彰に関すること。
16．研修及び研修計画に関すること。
17．職員の公務災害補償に関すること。
18．公務による交通事故の処理及び賠償に関すること（消防課の主管に属するものを除く。）。
19．職員の福利厚生に関すること。
20．職員の健康及び安全衛生管理に関すること。
21．職員の服務規律等に関すること。
22．庁中管理の統轄に関すること。
23．消防職員委員会に関すること。
24．予算の編成及び執行並びに決算事務の総括に関すること。
25．職員の給貸与品に関すること。
26．他の課の主管に属しないこと。
27．課の庶務に関すること。</td></tr>
<tr><td></td><td>防災センター</td><td>1．防災センターに関すること。
2．センターの庶務に関すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">消　防　課</td><td>1．災害の警備に関すること。
2．災害対策の連絡及び調整に関すること。
3．非常警防体制及び特別警戒体制の実施に関すること。
4．消防相互応援協定に関すること。
5．地域防災計画及び水防計画に関すること。
6．都市計画法（昭和４３年法律第１００号）に基づく開発行為に係る同意に関すること。
7．消防水利の開発及び保全に関すること。
8．水防資器材の整備保全に関すること。
9．防災総合訓練等に関すること。
10．消防車両等の配置計画に関すること。
11．消防機械器具の整備及び整備技術の指導に関すること。
12．特殊な消防機械器具の操作技術の指導に関すること。
13．消防車両等の燃料に関すること。
14．消防車両等の登録及び検査等に関すること。
15．車両管理の総括に関すること。
16．公務による交通事故の物損処理に関すること。
17．課の庶務に関すること。</td></tr>
<tr><td></td><td>指揮救助隊</td><td>1．救助対策及び救助活動に関すること。
2．救助隊の教育訓練及び救助技術に関すること。
3．救助機械器具の整備保全及び操作技術の指導に関すること。
4．救助統計に関すること。
5．救助の警備計画に関すること。
6．指揮支援隊に関すること。
7．緊急消防援助隊に関すること。
8．国際消防救助隊に関すること。
9．隊の庶務に関すること。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>指揮支援隊</td><td>1．災害現場の指揮支援に関すること。
2．災害現場の安全管理及び現場指揮体制の調査研究に関すること。
3．災害現場の情報収集及び現場広報に関すること。
4．災害の警戒及び防除に関すること。
5．消防活動技術の研究に関すること。
6．火災防御検討会に関すること。
7．警防計画及び訓練に関すること。</td></tr>
</table>

消防局	予　防　課	１．火災予防施策の計画立案に関すること。 ２．火災予防の対策及び広報に関すること。 ３．防火管理者資格講習及び指導に関すること。 ４．火災原因及び損害の調査に関すること。 ５．火災警報の発令に関すること。 ６．予防統計に関すること。 ７．女性防災クラブに関すること。 ８．住宅防火に関すること。 ９．住宅用火災警報器の普及促進に関すること。 10．危険物の許可、認可及び規制に関すること。 11．指定可燃物その他特殊な物質の防火に関すること。 12．危険物取扱者等及び危険物施設の管理者の指導に関すること。 13．液化石油ガスその他の高圧ガスの防火指導に関すること。 14．危険物の災害予防対策及び調査研究に関すること。 15．建築物の確認、許可及び認可の同意に関すること。 16．消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 17．建築物の防火に関すること。 18．防火対象物の使用届出等に関すること。 19．防炎規制の指導に関すること。 20．予防査察の計画、実施及び指導に関すること。 21．防火対象物の違反処理に関すること。 22．課の庶務に関すること。
	救　急　課	１．救急業務の基本計画に関すること。 ２．救急隊の運用に関すること。 ３．救急情報の収集及び救急統計に関すること。 ４．救急医療関係機関等との連絡及び調整に関すること。 ５．救急隊員の感染防止対策及び健康管理に関すること。 ６．救急資機材の配置及び開発に関すること。 ７．救急業務の需要に係る対策に関すること。 ８．救急救命士及び救急隊の教育訓練に関すること。 ９．救急医療及び救急技術の調査研究に関すること。 10．応急手当の普及啓発活動に関すること。 11．患者搬送事業に関すること。 12．メディカルコントロール体制（医療機関等との連携により救急業務の質的向上を図る体制をいう。）に関すること。 13．救急業務の高度化推進に関すること。 14．救急ワークステーション設置準備に関すること。 15．ドクターカー運用に関すること。 16．課の庶務に関すること。
	指　令　課	１．電子計算機器及び入出力媒体の管理に関すること。 ２．電子計算機器処理に係る情報の管理に関すること。 ３．端末機の操作研修及びパスワードの管理に関すること。 ４．その他電子計算機器の運用に関すること。 ５．水火災、救急その他の災害の受報及び出動指令に関すること。 ６．通信施設及び器具の運用管理に関すること。 ７．消防隊等の出動の統制的運用に関すること。 ８．水火災、救急その他の災害の現場の通信統制に関すること。 ９．水火災、救急その他の災害の現場の情報収集及び連絡に関すること。 10．職員の非常招集に関すること。 11．医療機関等との連絡及び協調に関すること。 12．通信施設の技術研究及び指導に関すること。 13．防災気象の通信連絡に関すること。 14．課の庶務に関すること。

消　防　署	庶務係	１．火災予防の対策及び広報に関すること。 ２．査察に関すること。 ３．防火対象物の設備及び防火管理者の指導に関すること。 ４．消防用設備等の設置の指導及び点検結果報告に関すること。 ５．予防統計に関すること。 ６．火災その他の災害の調査に関すること。 ７．火災原因及び損害の調査に関すること。 ８．署の事務の企画調整に関すること。 ９．公務による交通事故の処理に関すること。 10．署の庶務に関すること。 11．女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	消防小隊（中央・南・西署）	１．警防計画及び訓練に関すること。 ２．火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 ３．消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。 ４．消防の機械器具の整備及び保全に関すること。 ５．査察及びその他の防火指導に関すること。 ６．所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 ７．自衛消防隊の訓練の指導に関すること。 ８．消防相談に関すること。 ９．火災その他の災害の調査に関すること。 10．職員の非常招集に関すること。 11．署所の軽微な庁中管理に関すること。 12．公務による交通事故の物損処理に関すること。 13．火災原因及び損害の調査に関すること。 14．女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	救助小隊（中央・南・西署）	１．災害現場の安全管理に関すること。 ２．救助訓練に関すること。 ３．人命の救助及び防火に関すること。 ４．救助の機械器具の整備保全に関すること。 ５．救助の報告に関すること。 ６．緊急消防援助隊の出動に関すること。 ７．国際消防救助隊の派遣に関すること。 ８．署所の軽微な庁中管理に関すること。 ９．公務による交通事故の物損処理に関すること。 10．救助技術に関すること。 11．火災原因及び損害の調査に関すること。 12．火災その他の災害の調査に関すること。 13．査察及びその他の防火指導に関すること。 14．女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。
	消防救助小隊（北・東消防署）	１．警防計画及び訓練に関すること。 ２．火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 ３．消防地水利の開発、調査及び保全に関すること。 ４．機械器具の整備及び保全に関すること。 ５．査察及びその他の防火指導に関すること。 ６．所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 ７．自衛消防隊の訓練の指導に関すること。 ８．消防相談に関すること。 ９．火災その他の災害の調査に関すること。 10．職員の非常招集に関すること。 11．署所の軽微な庁中管理に関すること。 12．公務による交通事故の物損処理に関すること。 13．火災原因及び損害の調査に関すること。 14．女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。 15．災害現場の安全管理に関すること。 16．救助訓練に関すること。 17．人命の救助及び防火に関すること。 18．救助の報告に関すること。 19．緊急消防援助隊の出動に関すること。 20．国際消防救助隊の派遣に関すること。 21．救助技術に関すること。
	救急小隊	１．救急の機械器具の整備及び保全に関すること。 ２．救急対策及び救急処置に関すること。 ３．救急の報告に関すること。 ４．救急統計に関すること。 ５．公務による交通事故の物損処理に関すること。 ６．火災その他の災害の調査に関すること。

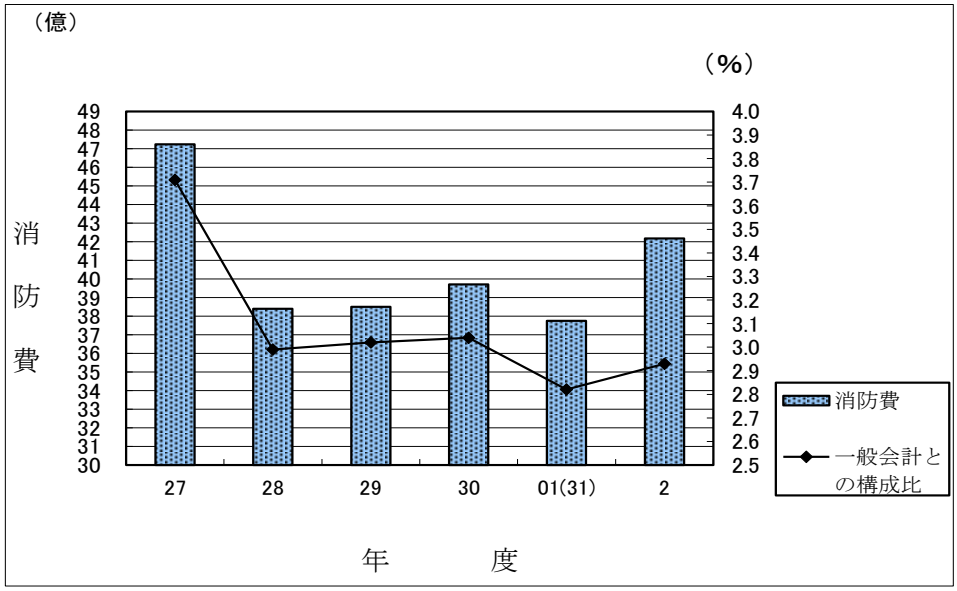
分　署	月ヶ瀬分署以外	消防小隊	１．文書の収発及び保管整理に関すること。 ２．警備計画及び訓練に関すること。 ３．火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 ４．消防水利の調査及び保全に関すること。 ５．査察及びその他の防火指導に関すること。 ６．消防の機械器具の整備及び保全に関すること。 ７．所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 ８．自衛消防隊の訓練及び指導に関すること。 ９．火災その他の災害の調査に関すること。 10．消防相談に関すること。 11．署所の軽微な庁中管理に関すること。 12．火災原因及び損害の調査に関すること。 13．公務による交通事故の物損処理に関すること。 14．女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。 15．その他管内の消防及び救急業務に関すること。
		救急小隊	１．文書の収発及び保管整理に関すること。 ２．救急対策及び救急処置に関すること。 ３．救急の機械器具の整備及び保全に関すること。 ４．火災その他の災害の調査に関すること。 ５．消防相談に関すること。 ６．署所の軽微な庁中管理に関すること。 ７．公務による交通事故の物損処理に関すること。 ８．救急統計に関すること。 ９．その他管内の救急業務に関すること。
	月ヶ瀬分署	消防救急小隊	１．文書の収発及び保管整理に関すること。 ２．警備計画及び訓練に関すること。 ３．火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。 ４．消防水利の調査及び保全に関すること。 ５．査察及びその他の防火指導に関すること。 ６．救急対策及び救急処置に関すること。 ７．救急及び消防機械器具の整備保全に関すること。 ８．所轄に係る消防団の連絡及び協力等に関すること。 ９．自衛消防隊の訓練及び指導に関すること。 10．火災その他の災害の調査に関すること。 11．消防相談に関すること。 12．署所の軽微な庁中管理に関すること。 13．火災原因及び損害の調査に関すること。 14．公務による交通事故の物損処理に関すること。 15．女性防災クラブ及び幼年消防クラブに関すること。 16．救急統計に関すること。 17．その他管内の消防及び救急業務に関すること。

６　消防予算

（１）　一般会計予算額と消防費との比較

区分 年度	一　般　会　計 （千円）	消　防　費 （千円）	構　成　比 （%）
平成２７年度	127,300,000	4,723,511	3.71
平成２８年度	128,496,754	3,839,467	2.99
平成２９年度	127,561,997	3,849,752	3.02
平成３０年度	130,526,400	3,970,159	3.04
令和元年度	133,790,000	3,775,472	2.82
令和２年度	144,100,000	4,218,313	2.93

（２）　消防費予算の一般会計に対する比率の推移



（３）　消防予算の内訳及び前年度との比較（当初予算）

科目＼年度		令和２年度（千円）	令和元年度（千円）	比較増減（千円）
一　般　会　計		144,100,000	133,790,000	10,310,000
消　　防　　費		4,218,313	3,775,472	442,841
内訳	常備消防費	3,675,982	3,536,088	139,894
	非常備消防費	146,313	145,743	570
	水防費	106	96	10
	消防施設維持費	4,770	4,772	△2
	消防施設費	391,142	88,773	302,369

（４）　消防費に対する人口・世帯当たり額

年度＼区分	消防費（千円）	人口（人）	世帯数（世帯）	１人当たり（円）	１世帯当たり（円）
平成２７年度	4,723,511	363,051	158,268	13,011	29,845
平成２８年度	3,839,467	361,423	159,297	10,623	24,103
平成２９年度	3,849,752	359,666	160,242	10,704	24,025
平成３０年度	3,970,159	358,155	161,392	11,085	24,599
令和元年度	3,775,472	356,352	162,380	10,595	23,251
令和２年度	4,218,313	355,529	163,991	11,865	25,723

（人口及び世帯数は各年度の４月１日現在）

（５）　消防費性質別予算額

（千円）

科目＼年度	令和２年度		令和元年度		増減	
	額（A）	割合（%）	額（B）	割合（%）	（A）－（B）（C）	増減比（%）
消防費	4,218,313	100.0	3,775,472	100.0	442,841	11.7
人件費	3,307,431	78.4	3,212,563	85.0	94,868	3.0
維持補修費	4,770	0.1	4,772	0.1	△2	△0.1
物件費	441,200	10.5	395,771	10.5	45,429	11.5
補助費等	73,770	1.7	73,593	2.0	177	0.2
普通建設事業費	391,142	9.3	88,773	2.4	302,369	340.6

7　職員の階級別配置状況

（令和２年４月１日現在）

区分 / 所属等			合計		消防局長	次長	課長 署長 防災官 主幹 副署長	補佐 主査 中隊長	係長 小隊長 副小隊長	係員		
					消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計				384	1	2	21	42	126	130	1	61
局	局長			1	1							
局	次長			2		2						
局	総務課			32			2	3	4	5		18
局	消防課			12			3	3	5	1		
局	予防課			9			2	1	3	3		
局	救急課			6			1	1	2	2		
局	指令課			17			4	4	3	6		
局	小計			79	1	2	12	12	17	17		18
署	中央消防署	本署	86	42			2	6	16	13		5
署	中央消防署	佐保分署		22				1	9	10		2
署	中央消防署	南部分署		22				1	9	10		2
署	南消防署	本署	66 (67)	44 (45)		(1)	1	6	19	9		9
署	南消防署	西大寺分署		22				1	6	10		5
署	西消防署	本署	64	42			2	6	13	13		8
署	西消防署	富雄分署		22				1	9	9		3
署	北消防署		27	27			2	3	7	9		6
署	東消防署	本署	62	27			2	3	7	13	1	1
署	東消防署	東部分署		22				1	9	11		1
署	東消防署	月ヶ瀬分署		13				1	5	6		1
署	小計			305			9	30	109	113	1	43
条例定数				412								

（注）市長部局へ１名出向（定数外）、市長部局からの出向１名含、南消防署長及び文化財防災官は事務取扱

8　職員の階級別勤続年数調べ

（令和２年４月１日現在）

階級別 / 年数別	計	消防士	消　防 副士長	消防士長	消　防 司令補	消防司令	消　防 司令長	消防監	消防正監
計	384	61	1	130	126	42	21	2	1
1年	18	18							
2年	17	16					1		
3年	5	5							
4年	5	5							
5年	2	2							
6年	3	3							
7年	15	7		8					
8年	12	3		9					
9年	14	1		12	1				
10年	10	1		9					
11年	13			13					
12年	13			13					
13年	18			18					
14年	8			8					
15年	9			9					
16年	17			6	11				
17年	5			1	4				
18年	5			1	4				
19年									
20年									
21年	2				2				
22年									
23年									
24年	17			5	12				
25年									
26年	25			4	21				
27年	17			5	9	3			
28年	23			2	16	5			
29年	17		1		13	3			
30年	12			1	6	5			
31年	11			1	5	3	2		
32年	1				1				
33年	13			2	6	4	1		
34年									
35年	17				7	5	5		
36年	8			1	2	2	3		
37年	7				2	2	3		
38年	14			2	1	6	5		
39年	3					2	1		
40年	6				3	1		1	1
41年	1							1	
42年	1					1			
43年									
44年									
45年									
46年									
47年									
48年以上									

（注）市長部局へ１名出向（定数外）、市長部局からの出向１名含（消防司令長）

９　職員の階級別年令調べ

（令和２年４月１日現在）

階級別 / 年令別	計	消防士	消　防 副士長	消防士長	消　防 司令補	消防司令	消　防 司令長	消防監	消防正監
計	384	61	1	130	126	42	21	2	1
18 歳	6	6							
19 歳	3	3							
20 歳	3	3							
21 歳	4	4							
22 歳	5	5							
23 歳	4	4							
24 歳	4	4							
25 歳	7	7							
26 歳	5	5							
27 歳	9	8		1					
28 歳	6	3		3					
29 歳	10	1		9					
30 歳	11	3		8					
31 歳	9	1		8					
32 歳	12	4		8					
33 歳	15			14	1				
34 歳	10			10					
35 歳	14			13	1				
36 歳	10			9	1				
37 歳	11			10	1				
38 歳	6			4	2				
39 歳	9			7	2				
40 歳	5			2	3				
41 歳	7			2	5				
42 歳	6			1	5				
43 歳	15			5	10				
44 歳	8			2	6				
45 歳	23			2	18	3			
46 歳	15				14	1			
47 歳	21		1	3	11	6			
48 歳	18			2	10	5	1		
49 歳	14			1	10	3			
50 歳	6			1	4	1			
51 歳	7			1	4	2			
52 歳	12				5	3	4		
53 歳	1					1			
54 歳	8			1	4	1	2		
55 歳	5			1		2	2		
56 歳	6			1	1	2	2		
57 歳	14				5	4	4	1	
58 歳	9			1	2	4	2		
59 歳	11				1	4	4	1	1
60 歳	0								
61 歳	0								
62 歳	0								
63 歳	0								
64 歳	0								
65 歳以上	0								

（注）市長部局へ１名出向（定数外）、市長部局からの出向１名含、南消防署長及び文化財防災官は事務取扱

10　職員の研修状況

（令和元年（平成３１年）度中）

区	分	研　修　科　目	回　数	延人数
派遣研修	県消防学校	初任教育	1	１４
		救急科（標準課程）	1	１５
		救助科	1	３
		火災調査科	1	３
		幹部教育中級幹部科	1	３
		特別教育無線通信教育（第２期） 第２級陸上特殊無線技士養成課程	1	１９
	消防大学校	火災調査科	1	１
		予防科	1	１
		女性活躍推進コース	1	１
	救急救命士養成課程	救急救命東京研修所	1	１
		大阪市消防局高度専門教育訓練センター	1	１
		京都市消防学校教養課救急教育訓練センター	1	１
	指導救命士養成研修	救急救命九州研修所	1	１
	その他	大阪市消防局火災調査研修	2	２
		大阪市消防局違反処理指導者研修	1	１
		大阪市消防局方面隊実務研修	1	１
		玉掛け技能講習	1	３
		小型移動式クレーン運転技能講習	1	３
		公務災害補償等初任者研修会	1	１
		消防職員安全衛生管理研修会	1	２
		潜水士免許準備講習会	1	３
		消防職員のための惨事ストレスの理解と予防コース受講	1	２
		国際文化研修所　国際消防救助隊セミナー受講	1	１
一般研修	局	全職員研修会	2	１２７
特別研修	局	女性消防吏員活躍推進研修	1	６２
		消防職向け手話講習会	1	２７
		消防車両・積載器具に関する研修	2	３６
		救急業務に関する研修	7	１２１
		火災調査研修	1	５９
職場研修	署	服務	8	４０
		法規	2	１１
		情報	1	４
		消防広報	1	３
		災害対策	２１	１５３
		安全管理	5	３９
		予防	５９	２４６
		火災原因調査	２９	１５０
		危険物	3	２７
		査察	２９	１２１
		警防	７０２	３２６２
		消防機械器具	５４	２０２
		救急	１８８	７２３
		救助	８６３	３５１６
		庶務	4	３６
		その他	６１	２５２

11　奈良市消防音楽隊の概要

消防音楽隊は、「消防行政のＰＲ」と「防火思想の普及」のため、消防の諸行事、市のイベント等で演奏を行っています。又、広く市民と交流を図るために各種団体等からの演奏依頼にも積極的に参加し、火災予防と市民の安全を願いつつ活動を続けています。

（１）　音楽隊員の配置状況

（令和２年４月１日現在）

所属別＼階級別		計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防局	計	２５	０	３	２	１０	８	０	２
	総務課	６		２	１	１	２		
	消防課	１				１			
	予防課	２			１		１		
	救急課	２				１	１		
	指令課	０							
消防署	中央署	４		１		２	１		
	南署	６				３	２		１
	西署	３				２	１		
	北署	１							１
	東署	０							

※　消防署については分署を含めた総数

（２）　音楽隊の編成状況

隊　長　　１　名
副隊長　　１　名
楽　長　　１　名
副楽長　　１　名
隊　員　２１　名　　計　２５　名

（楽器保有数）　　（令和２年４月１日現在）

品　　名	数	品　　名	数
ピッコロ	2	マーチングユーフォニューム	1
フルート	2	チューバ	2
クラリネット	6	スーザフォン	2
アルトサックス	2	スネアドラム	3
テナーサックス	2	バスドラム	2
トランペット	7	クオード	1
コルネット	2	ドラムセット	1式
フレンチホルン	2	グロッケン	2
マーチングホルン	2	シンバル	1
テナートロンボーン	4	シンセサイザー	1
バストロンボーン	1	コンガ	1
ユーフォニューム	2	ボンゴ	1

（階級、年齢別）　　（令和２年４月１日現在）

階級別／年齢別	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	２５	0	3	2	１０	8	0	2
20 才～24 才	0							
25 才～29 才	1							1
30 才～34 才	4					3		1
35 才～39 才	5				1	4		
40 才以上	１５	0	3	2	9	1		

（３）　音楽隊の活動状況

派　遣　演　奏　等					
	合計	音楽隊 自主事業	消防関係	市関係	その他
回　数	０回	０回	０回	０回	０回

（令和元年（平成３１年）度中）

「大安寺西小学校訪問演奏会」

防災センター関係

「応急手当普及啓発」

12　奈良市防災センター

奈良市防災センターは、国土庁（当時）の防災基地建設モデル事業として全国で１０番目に国の補助を受け、平成５年９月から平成７年６月までの３ヵ年の継続事業として建設しました。

災害時には、情報処理の迅速かつ適正な運用や応急救護、住民の避難場所として活用し、また平常時においては、防災ＰＲ活動や防災教育を行う拠点とする防災基地として、平成７年８月１日に運用を開始して以来、多数の来館者を迎え皆様に親しまれています。

（１）防災センター

ア　組　織

所長（総務課主幹兼務）――　臨時職員（９名）

イ　事業概要

奈良市防災センターの管理運営及び防災に関する知識と技術の普及事業を行うことにより、市民の防災意識の高揚を図る。

（２）概　要

ア　施　設

所 在 地　　奈良市八条五丁目４０４番地の１

開　　館　　平成７年８月１日

敷地面積　　６，６２２．１２㎡（奈良市消防局・南消防署併設庁舎と同一敷地内）

延床面積　　３，０２１．３７㎡　　構　造　鉄骨鉄筋コンクリート造

１　階　　消火体験、煙避難体験、台風体験、地震体験、１１９番通報体験、ビル火災と避難方法、奈良市の防災体制、緊急地震速報展示装置、火災とその対処法、防災Ｑ＆Ａ、防災センター事務室

２　階　　研修室、視聴覚室、救急措置訓練室、図書室

３　階　　消防局指令課、奈良市・生駒市消防指令センター、災害対策作戦室、コンピュータ室

４　階　　多目的ホール、備蓄倉庫、無線機械室

イ　開館時間　　午前９時３０分から午後４時３０分

ウ　休 館 日　　月曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、開館しその翌日が休館）

休日の翌日（その日が、土・日曜日及び休日にあたる場合は開館）

年末年始　　１２月２８日から翌年１月４日まで

エ　入 館 料　　無　料

「なっぴぃ煙避難体験」

（3） 入館状況

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 月	団体		個人（注1）			普通救命講習				合計人数
						団体申込		定期講習（注２）		
	団体数	人数	大人	小人	小計	団体数	人数	回数	人数	
4	8	129	685	91	776	0	0	2	5	910
5	12	352	1,198	252	1,450	2	31	3	27	1,860
6	30	726	1,021	82	1,103	4	73	2	24	1,926
7	26	556	681	155	836	5	52	3	34	1,478
8	21	336	1,015	252	1,267	4	52	2	29	1,684
9	35	1,008	620	108	728	7	200	3	23	1,959
10	37	1,770	656	78	734	0	0	2	23	2,527
11	41	1,542	755	187	942	3	52	3	31	2,567
12	13	226	506	84	590	2	28	2	21	865
1	11	426	630	88	718	0	0	3	29	1,173
2	19	574	774	62	836	1	18	1	17	1,445
3	0	0	358	3	361	0	0	0	0	361
合計	253	7,645	8,899	1,442	10,341	28	506	26	263	18,755

（注１）中学生以上は大人、小学生以下は小人として計上

（注２）定期講習とは毎月２回実施している普通救命講習Ⅰ（主に成人を対象とした講習）と２ヶ月に１回実施している普通救命講習Ⅲ（主に乳幼児を対象とした講習）でいずれも個人申込によるもの

（4） 施設利用状況

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 月	研修室		視聴覚室		救急処置訓練室		図書室	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	4	103	5	83	2	5	3	14
5	11	699	8	196	7	207	6	182
6	15	486	23	491	9	136	6	39
7	3	136	22	420	9	93	2	7
8	11	344	18	296	11	356	8	39
9	10	316	25	546	6	78	4	26
10	5	195	27	1,262	7	94	3	18
11	11	390	27	1,190	15	349	7	41
12	9	153	8	137	5	59	0	0
1	4	226	10	373	5	219	5	31
2	7	324	14	427	4	59	4	26
3	1	25	1	15	0	0	3	23
合計	91	3,397	188	5,436	80	1,655	51	446

警　防　関　係

「奈良市消防技術研修会」

13　警防概要

令和元年（平成３１年）中の警防出動（火災・救助・救急出動を除く出動）件数は１，２５０件で、一日平均３．４件出動しています。

出動内容は、ガス漏れや危険物流出に伴う危険排除出動や重篤患者に対応する救急隊の支援出動など多岐にわたり、近年、都市構造や社会環境等の変化に伴い、災害の発生要因は複雑多様化し、従来にも増して的確な災害対応が求められており、様々な災害に対応できうる知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の警防体制は、これらの災害に対応すべく資機材や車両、消防水利等の整備を図るとともに、幅広い知識と技術の習得のため日々訓練・研修に取り組み、市民の安心・安全に期すべく体制強化に努めています。

「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」

14　警防概況

区分＼年別		令和元年 （平成３１）年
出動件数		１，２５０
種別	自火報警戒（非火災）	１１１
	車両等からの油漏洩	６４
	ガス漏れ	６
	風水害	２１
	誤報・虚報	４０
	救急隊支援	９１８
	そ　の　他	９０
出動人員		６，４０４
１ヶ月平均出動件数		１０４

15　署別警防出動状況

（令和元（平成３１年）中）

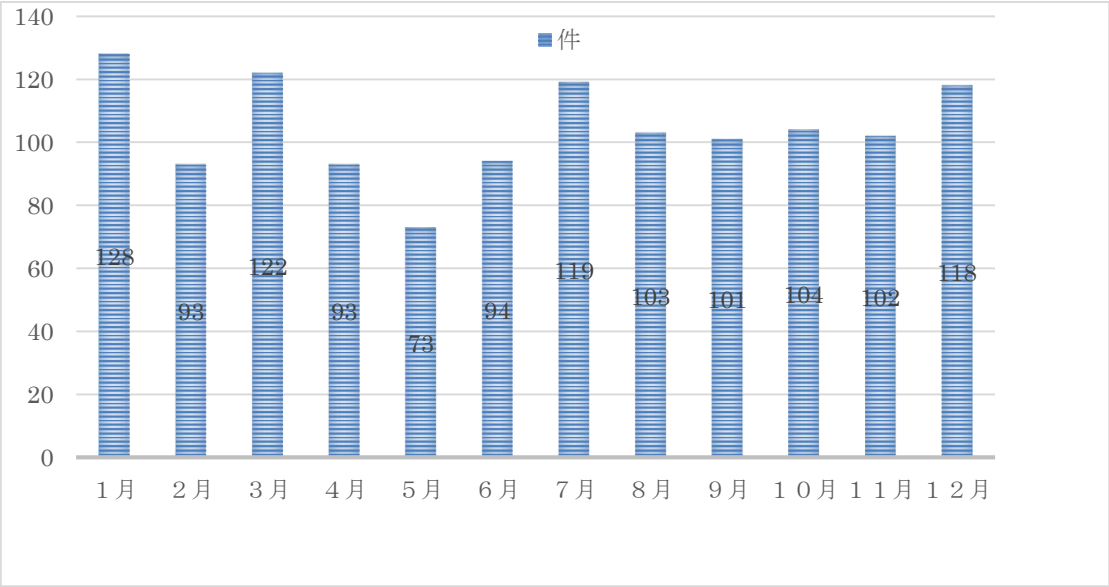
区分		種別	計	自火報警戒（非火災）	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	救急隊支援	その他
計		出動件数	1,250	111	64	6	21	40	918	90
		出動人員	6,404	843	518	49	68	581	3,389	956
中央消防署	本　署	出動件数	186	27	8		9	4	126	12
		出動人員	1,032	208	75		20	81	497	151
	佐保分署	出動件数	132	14	9			4	97	8
		出動人員	706	127	77			41	351	110
	南部分署	出動件数	99	4	11		5	3	69	7
		出動人員	557	32	115		24	29	252	105
南消防署	本　署	出動件数	221	15	12	2	4	4	167	17
		出動人員	1,151	114	85	16	12	51	631	242
	西大寺分署	出動件数	90	8	2	1		2	76	1
		出動人員	355	58	11	8		11	264	3
西消防署	本　署	出動件数	206	19	5		2	9	161	10
		出動人員	1,027	143	33		12	131	617	91
	富雄分署	出動件数	105	5	3	2		3	82	10
		出動人員	486	35	25	14		40	280	92
北消防署	本　署	出動件数	104	8	4	1		4	82	5
		出動人員	507	52	33	11		64	296	51
東消防署	本　署	出動件数	56	6	5			4	31	10
		出動人員	320	36	33			84	108	59
	東部分署	出動件数	44	3	4		1	3	25	8
		出動人員	230	24	25		3	49	85	44
	月ヶ瀬分署	出動件数	7	2	1				2	2
		出動人員	36	14	6				8	8

16　月別警防出動状況

（令和元年（平成３１年）中）

種別／月別	計	自火報警戒（非火災）	車両等からの油漏洩	ガス漏れ	風水害	誤報・虚報	救急隊支援	その他
計	1,250	111	64	6	21	40	918	90
1	128	8	6			5	105	4
2	93	8	3	1		1	70	10
3	122	7	10			2	96	7
4	93	11	8	1		2	62	9
5	73	6	4			2	56	5
6	94	8	5			1	71	9
7	119	13	6		15	4	73	8
8	103	14	4	1	5	4	72	3
9	101	9	3	1		3	74	11
１０	104	10	5	1	1	2	78	7
１１	102	5	3	1		5	83	5
１２	118	12	7			9	78	12

月別警防出動件数



17　消防車両等の配備状況

（令和２年４月１日現在）

区分＼署所	計	消防局	中央消防署			南消防署		西消防署		北消防署	東消防署		
			本署	佐保分署	南部分署	本署	西大寺分署	本署	富雄分署		本署	東部分署	月ヶ瀬分署
計	116	20	16	6	5	17	4	11	4	10	12	6	5
ポンプ車	13		1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1
水槽付ポンプ車	5				1			1		1	1	1	
化学車	2		1			1							
30m梯子車	1							1					
35m梯子車	2		1							1			
25m屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1					1							
Ⅰ型救助工作車	2									1	1		
Ⅱ型救助工作車	2		1					1					
Ⅲ型救助工作車	1					1							
電源車	1		1										
普通型(2B型)救急車	0												
高規格救急車	13	1	2		1	2	1	1	1	1	1	1	1
災害対応特殊救急車	3			1				1			1		
指令車	9	6	1					1			1		
広報車	5	3				1				1			
査察車	10	1	1			1	1		1	1	2	1	1
バス	1	1											
楽器搬送車	1	1											
搬送車	4	1	1		1			1					
支援車	2	2											
輸送車	1					1							
連絡車	2	1									1		
燃料補給車	1	1											
予防啓発車	1	1											
軽四輪積載車	1			1									
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	15	1	4	2		3		1		1	1	1	1

（注）中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプは、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

18　消防水利状況

（令和２年４月１日現在）

（１）消火栓

区分 署別	合　　計	公　　設	私　　設	その他（簡水）
合　　計	５，８５３	５，０６６	３３４	４５３
中央消防署	１，８５７	１，６０７	２００	５０
南消防署	１，３１７	１，２４４	７３	０
西消防署	１，４８６	１，４５６	３０	０
北消防署	５２４	４９３	３１	０
東消防署	６６９	２６６	０	４０３

（２）防火水槽

区分 署別	公設				私設			
	有蓋		無蓋		有蓋		無蓋	
	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上	40t 以上 100t 未満	100t 以上
合　　計	５１５	４１	１３５	０	６８４	４２	３４	８
中央消防署	１２３	１３	１２	０	２０７	１６	６	２
南消防署	５８	６	０	０	１６０	１２	２	３
西消防署	１２２	１１	０	０	１８７	１２	１	１
北消防署	３３	６	１	０	６０	０	０	１
東消防署	１７９	５	１２２	０	７０	２	２５	１

（３）その他の水利

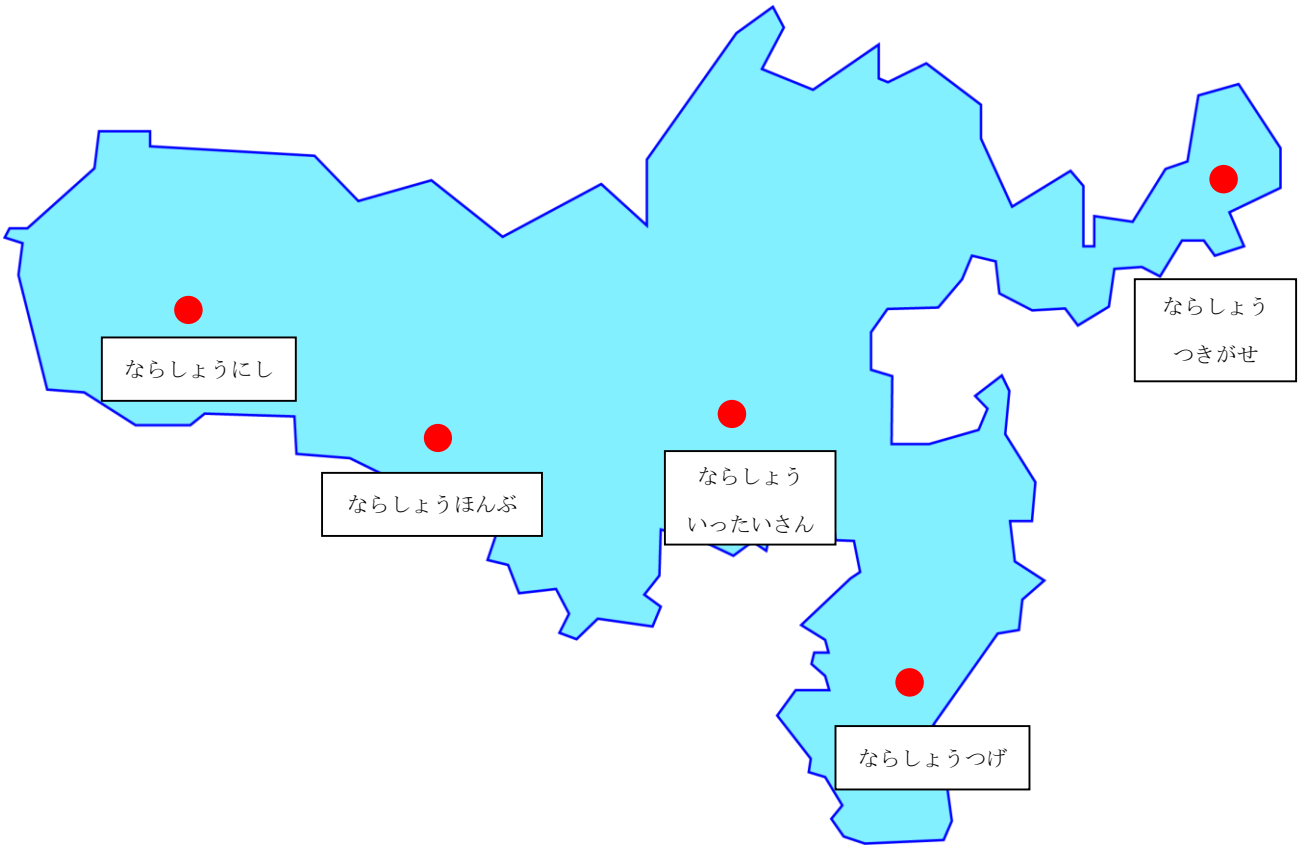
区分 署別	ため池	プール	河川
合　　計	１９８	９７	２７
中央消防署	４２	３２	７
南消防署	３７	１５	６
西消防署	２２	２２	２
北消防署	２２	１１	０
東消防署	７５	１７	１２

通　信　関　係

「奈良市・生駒市消防指令センター」

19　通信施設

(1) 基地局



基地局（デジタル）		消防局	一体山 前進基地局	都祁 前進基地局	西消防署 前進基地局	月ヶ瀬 前進基地局
呼出名称		ならしょう ほんぶ	ならしょう いったいさん	ならしょう つげ	ならしょう にし	ならしょう つきがせ
出　　力		10W	5W	10W	10W	10W
実装周波数名称	活動波１	○	○			
	活動波２	○	○	○	○	○
	活動波３	○	○	○	○	
	活動波４	○				
	主運用波	○	○	○		
	統制波１	○	○	○		
	統制波２	○	○	○		
	統制波３	○	○	○		

(2) 無線電話の現状

（令和２年４月１日現在）

局別		区分	実装周波数名称	出力	総数	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	活動波１ 活動波２ 活動波３ 活動波４ 主運用波 統制波１ 統制波２ 統制波３	10W	86	21	17	14	11	8	15
		可搬型無線機		10W	8	3	1	1	1	1	1
		携帯無線機		5W	64	12	14	11	10	6	11
	アナログ無線機	可搬型無線機	防災相互波	10W	2	2					
		携帯無線機		5W	17	5	3	3	2	1	3
		携帯無線機（署活動系）	署活系 1ch～4ch 防災相互波 県内共通波 （Ｇ１～Ｇ１７）	1W	167	26 (10)	38	30	28	16	29
市防災行政無線				1W	1	1					
救急車積載携帯電話				0.8W	16	1	4	3	3	1	4
画像伝送装置					16	2	4	3	3	1	3
位置管理用通信機					60	9	13	11	9	7	11

(3) 有線電話

（令和２年４月１日現在）

区分 局別	計	消防局	中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署
火災専用電話（固定電話・IP電話等） １１９番	12	12					
非常用１１９番	10	10					
携帯１１９番	4	4					
携帯１１９番転送回線	6	6					
一般加入電話	34	6（一般） 4（着信専用） 3（単独） 3（発信専用）	5	3	4	2	4
内　　線	186	79	32	22	19	13	21
テレガイド	14	14					
警察電話	1	1					
１１０番転送	1	1					
大阪ガス直通	1	1					
市役所直通	1	1					
企業局直通（緑ヶ丘浄水場）	2	2					
第二阪奈道路ホットライン	1	1					
阪神高速	1	1					
近鉄生駒駅	1	1					

(4) 119番着信件数

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 月	緊急性を要する通報							緊急性を要しない通報										
	総数	火災	救急	救助	警戒	水防	調査	病院問合せ	問合せ	相談	苦情	感謝	間違い	いたずら	回線テスト	自動通報試験	訓練通報	その他
総数	30,673	137	20,426	234	228	1	28	1,424	2,996	254	21	20	1,280	299	279	417	611	2,018
1	2,958	12	2,041	14	11			155	292	26	2	5	83	26	32	22	26	211
2	2,308	15	1,570	18	13		1	97	253	11	2	4	80	2	25	30	38	149
3	2,534	10	1,659	12	22		3	112	213	21	1	2	85	45	20	34	55	240
4	2,488	8	1,605	20	20		2	113	250	24	7	1	94	17	47	40	40	200
5	2,579	28	1,666	15	12		6	142	293	21			116	14	31	41	50	144
6	2,395	6	1,588	25	14		3	101	214	27	2	2	116	17	21	27	61	171
7	2,445	4	1,632	26	34	1	2	114	264	23	2	1	112	12	16	34	28	140
8	2,690	4	1,822	21	24		1	133	253	24	2	1	110	27	39	27	30	172
9	2,486	10	1,694	17	20		2	98	231	24		3	118	34	11	32	50	142
10	2,397	11	1,602	24	20		3	106	230	14	1		111	31	13	49	61	121
11	2,636	9	1,704	15	11		4	111	253	20	1		131	45	11	53	106	162
12	2,757	20	1,843	27	27		1	142	250	19	1	1	124	29	13	28	66	166

備考　警察電話、加入電話、医師搬送等は含まず

(5) １１９番通報種別割合

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 月	総数	NTT 固定		携　帯		ＩＰ		その他		携帯＋IP	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
合計	30,673	6,385	20.8%	14,218	46.4%	9,475	30.9%	595	1.9%	23,693	77.2%
1	2,958	577	19.5%	1,341	45.3%	975	33.0%	65	2.2%	2,316	78.3%
2	2,308	471	20.4%	1,072	46.4%	700	30.3%	65	2.8%	1,772	76.8%
3	2,534	507	20.0%	1,146	45.2%	826	32.6%	55	2.2%	1,972	77.8%
4	2,488	531	21.3%	1,107	44.5%	806	32.4%	44	1.8%	1,913	76.9%
5	2,579	567	22.0%	1,179	45.7%	785	30.4%	48	1.9%	1,964	76.2%
6	2,395	500	20.9%	1,101	46.0%	755	31.5%	39	1.6%	1,856	77.5%
7	2,445	476	19.5%	1,177	48.1%	748	30.6%	44	1.8%	1,925	78.7%
8	2,690	528	19.6%	1,326	49.3%	782	29.1%	54	2.0%	2,108	78.4%
9	2,486	519	20.9%	1,169	47.0%	757	30.5%	41	1.6%	1,926	77.5%
１０	2,397	526	21.9%	1,120	46.7%	701	29.2%	50	2.1%	1,821	76.0%
１１	2,636	647	24.3%	1,148	43.1%	498	18.7%	43	1.6%	1,646	62.4%
１２	2,757	536	19.4%	1,332	48.3%	842	30.5%	47	1.7%	2,174	78.9%

(6) テレフォンガイド利用数

（令和元年（平成３１年）中）

計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
17,161	1,205	1,393	1,340	1,275	2,387	1,364	1,172	1,383	1,285	1,268	1,266	1,823

(7) 月別気象状況（消防局）

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 月	気温（℃）			湿度（%）			風速（m/s）			降水量（mm）			気圧（hpa）		
	月平均	最高	最低	月平均	最高	最低	月平均	最大	風向	月合計値	日最大	降水日数	月平均	最高	最低
1	5.0	12.2	-1.3	71.8	99.1	28.8	2.4	18.1	南	22.5	18.5	4.0	1009.1	1020.8	994.9
2	6.6	17.0	-1.1	71.2	99.9	26.6	2.3	15.2	北	45.0	19.0	7.0	1009.0	1018.7	997.9
3	9.5	21.0	-0.3	67.1	99.1	11.6	2.7	21.7	北	67.0	14.5	14.0	1003.7	1016.2	985.4
4	13.8	27.3	1.3	61.9	99.4	8.8	2.7	22.8	北	58.0	12.0	10.0	1002.5	1012.3	988.4
5	20.4	34.1	5.4	53.8	99.9	9.4	2.4	16.9	北	65.0	36.5	7.0	1001.4	1009.8	989.2
6	23.4	32.9	15.9	69.9	99.9	25.2	2.3	19.7	西南西	103.0	30.0	9.0	995.5	1005.4	974.2
7	26.2	37.5	20.2	80.0	99.9	39.9	2.1	14.7	北北東	252.5	48.0	21.0	996.6	1003.9	987.3
8	29.1	38.9	20.2	71.9	99.9	28.6	2.5	17.8	南南東	258.0	46.5	14.0	996.1	1004.8	974.3
9	26.2	37.4	14.6	70.9	99.9	33.6	2.5	20.1	北	69.5	38.0	7.0	1002.0	1013.0	990.7
10	19.7	33.1	11.2	78.8	99.9	28.6	2.4	19.0	北	249.0	108.0	13.0	1003.1	1013.3	977.0
11	12.7	24.4	2.9	73.4	99.9	29.7	1.8	15.5	北	22.0	11.5	6.0	1006.9	1018.9	994.0
12	7.9	17.6	0.6	78.6	99.9	37.7	1.8	18.4	北	53.0	13.5	7.0	1008.6	1016.7	989.6
平均	16.7	27.8	7.5	70.8	99.7	25.7	2.3	18.3	北	105.4	33.0	10.0	1002.9	1012.8	986.9

(8)月別気象状況（東消防署）

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 月	気温（℃）			湿度（%）			風速（m/s）			降水量（mm）			気圧（hpa）		
	月平均	最高	最低	月平均	最高	最低	月平均	最大	風向	月合計値	日最大	降水日数	月平均	最高	最低
1	1.6	10.0	-5.5	84.9	98.6	25.5	2.2	13.9	西	23.0	14.5	8.0	964.1	974.7	950.0
2	3.2	13.8	-4.7	85.3	98.3	31.9	1.8	15.1	西	48.0	21.5	6.0	964.3	973.1	954.5
3	5.7	19.6	-4.2	81.1	98.3	22.5	2.1	17.9	東	55.5	11.0	14.0	959.8	971.1	942.5
4	9.7	22.8	-2.7	77.3	98.3	13.6	2.2	16.6	西	43.5	8.5	11.0	959.6	968.2	945.6
5	15.9	29.6	0.6	70.4	98.3	13.0	1.8	14.5	西	53.5	23.5	10.0	956.6	967.2	947.8
6	19.2	27.4	12.1	86.5	98.6	37.2	2.0	19.9	西	123.5	28.0	14.0	954.6	964.7	933.9
7	22.4	31.6	17.2	92.2	98.6	55.2	1.8	14.1	東北	263.0	46.0	20.0	956.4	963.5	947.0
8	24.8	33.3	16.5	87.7	98.6	38.3	2.2	19.0	東	241.5	56.5	16.0	956.6	964.3	936.3
9	22.0	31.3	10.2	87.3	98.6	43.0	1.8	14.4	南	26.5	15.5	6.0	962.1	973.0	951.1
10	15.9	28.1	7.0	91.7	98.6	36.1	1.9	20.0	西	345.5	148.0	14.0	962.3	971.0	936.6
11	8.9	20.4	-1.6	86.8	98.6	38.0	1.3	13.3	西	34.5	21.5	6.0	965.1	976.5	953.4
12	4.8	14.7	-2.5	89.3	98.6	38.0	1.5	15.4	西	58.5	19.5	8.0	966.0	973.7	948.0
平均	12.9	23.6	3.5	85.1	98.5	32.7	1.9	16.2	西	109.7	34.5	4.0	960.9	970.1	945.6

救　急　関　係

「奈良県ドクターヘリ要請訓練」

20　救急概要

令和元年（平成３１年）中の救急出場件数は２１，１０２件で前年と比べて７４０件増加、搬送人員は１９，１０１人となり前年度より６６９人増加しました。１年間で市民約１９人に１人の割合で搬送したことになります。

救急出場件数を事故種別に分類するとトップに急病１３，６５９件、続いて一般負傷３，６８５件、交通事故１，２５６件の順となっており、この３つの種別だけで全体の約８８％を占めています。

当市においては、これらの救急事案に対処するため、平成４年度から救急高度化推進事業として最新の資器材と優れた救急隊員をもって、高規格救急自動車１６台、救急救命士６２名（令和２年１月１日現在）を配置、うち高規格救急自動車１台を平成２２年１０月よりドクターカーとして運用し、あらゆる救急事故発生に備え市民の救命率向上を図るために万全の体制を期しております。

「奈良市消防局　高規格救急自動車（８６号車）」

21　救急資器材

（令和２年４月１日現在）

分　類	品　　名	分　類	品　　名
観察用資器材	患者監視装置	保温・搬送用資器材	雨おおい
	血圧計		スクープストレッチャー
	血中酸素飽和度測定器		担架
	検眼ライト		バックボード
	心電計		保温用毛布
	体温計	通信用資器材	車載無線機
	聴診器		携帯電話
	血糖値測定器		情報通信端末
呼吸・循環管理用資器材	気道確保用資器材		心電図伝送等送受信機器
	吸引器一式	創傷等保護用資器材	固定用資器材
	喉頭鏡		創傷保護用資器材
	酸素吸入器一式	感染防止・消毒用資器材	感染防止用資器材
	自動式人工呼吸器一式		消毒用資器材
	自動体外式除細動器	その他の資器材	トリアージタッグ
	手動式人工呼吸器一式		膿盆
	マギール鉗子		はさみ
	呼気二酸化炭素測定器具		ピンセット
	ショックパンツ		分娩用資器材
	自動式心マッサージ器		冷却用資器材
	心肺蘇生用背板		保安帽
	特定行為用資器材		救急かばん
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡		警笛
救出用資器材	救命浮環		懐中電灯
	救命綱		在宅療法継続用資器材
	万能斧		リングカッター

22　救急概況（前年との比較）

区分 ＼ 年別		令和元年（平成31年）	平成30年	比較（△減）
出場件数		21,102	20,362	740
事故種別	火災	45	52	△7
	自然災害	0	3	△3
	水難	7	4	3
	交通	1,256	1,208	48
	労働災害	174	165	9
	運動競技	123	113	10
	一般負傷	3,685	3,437	248
	加害	63	68	△5
	自損行為	182	150	32
	急病	13,659	13,151	508
	転院搬送	1,683	1,746	△63
	医師搬送	174	214	△40
	その他	51	51	0
救急件数		18,987	18,290	697
搬送人員（合計）		19,101	18,432	669
1ヵ月平均出場件数		1,758.5	1,696.8	61.7
1日平均出場件数		57.8	55.8	2

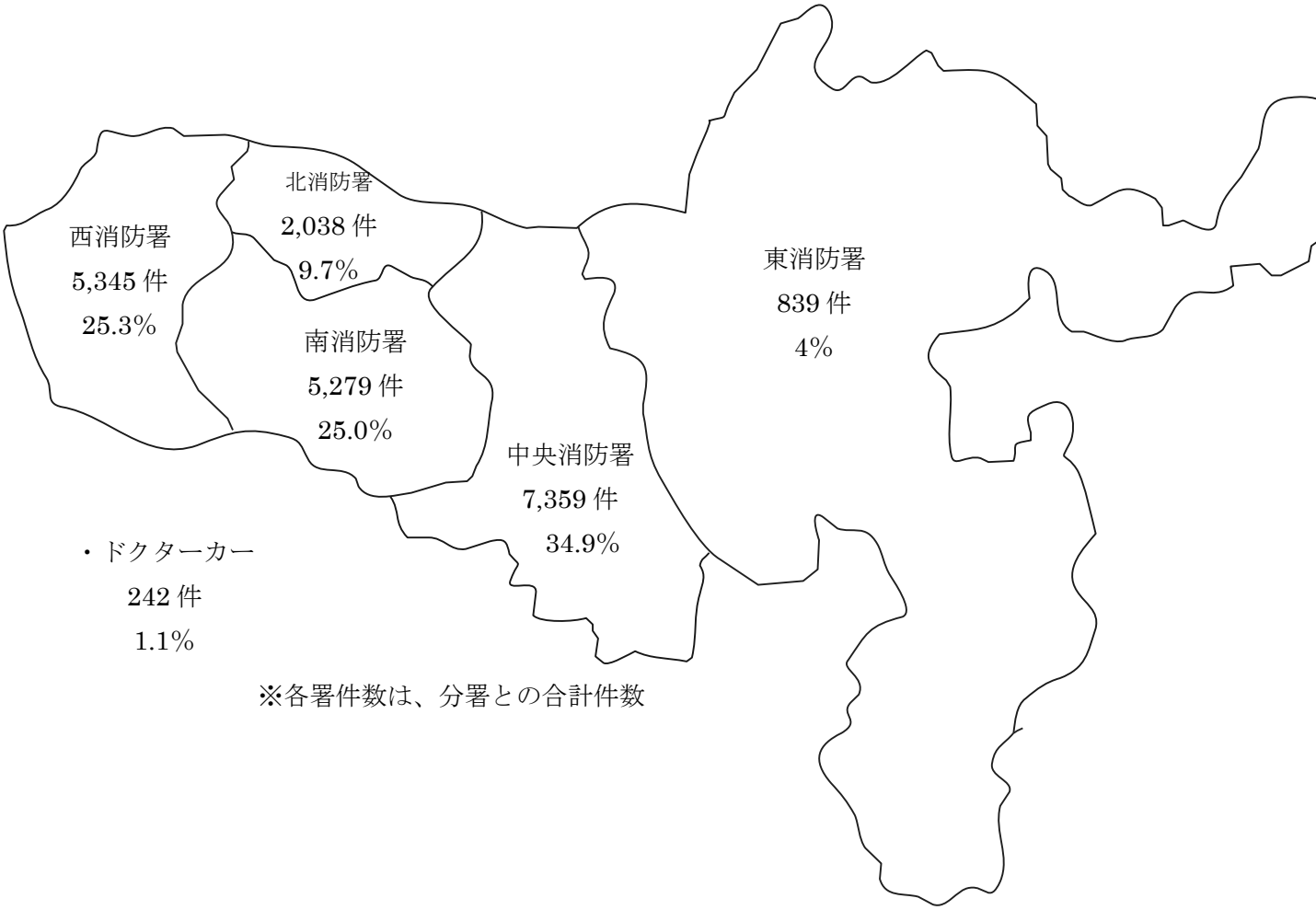
23　署別救急出場状況

（令和元年（平成３１年）中）

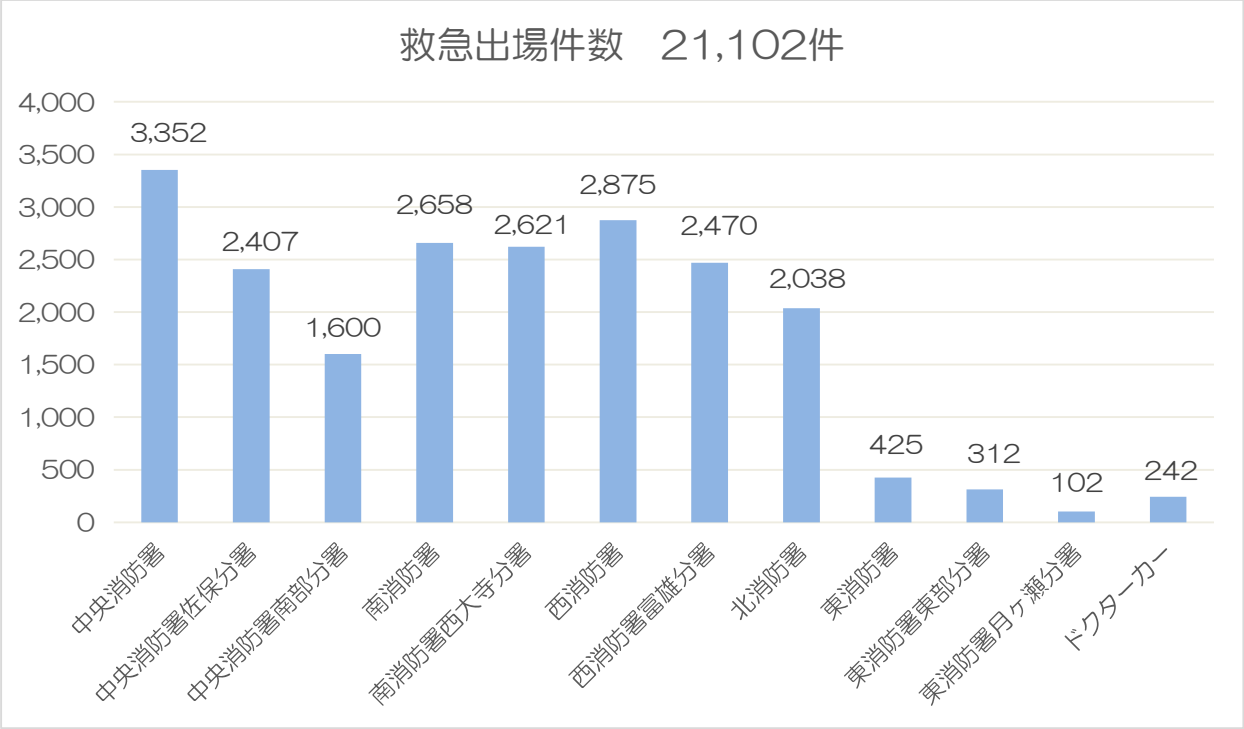
区分		種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
局　本　部		出場件数	0											
		搬送人員	0											
ドクターカー		出場件数	242					1	1	2		2	64	172
		搬送人員	9					1					8	
中央消防署	本　署	出場件数	3,352	5		3	210	22	12	601	11	33	2,182	273
		搬送人員	2,966			1	174	21	11	542	9	27	1,918	263
	佐保分署	出場件数	2,407	4		1	137	28	27	460	8	23	1,583	136
		搬送人員	2,169	2		1	134	27	26	435	7	18	1,393	126
	南部分署	出場件数	1,600	7			130	13	4	250	9	14	1,078	95
		搬送人員	1,468	4			120	13	2	233	8	10	987	91
南消防署	本　署	出場件数	2,658	5			200	20	6	382	5	24	1,616	400
		搬送人員	2,460	2			186	17	6	362	6	19	1,474	388
	西大寺分署	出場件数	2,621	8			154	17	27	485	8	24	1,712	186
		搬送人員	2,368	1			140	17	29	442	8	18	1,534	179
西消防署	本　署	出場件数	2,875	3		2	115	23	17	542	4	23	1,899	247
		搬送人員	2,642	3		1	111	22	17	490	3	16	1,737	242
	富雄分署	出場件数	2,470	4		1	132	13	4	446	8	21	1,622	219
		搬送人員	2,332			1	131	13	4	426	5	14	1,529	209
北消防署	本　署	出場件数	2,038	3			91	15	13	352	8	14	1,382	160
		搬送人員	1,886				84	15	13	326	5	9	1,281	153
東消防署	本　署	出場件数	425	5			52	16	12	65	1	2	261	11
		搬送人員	401	1			52	16	11	64	1	2	245	9
	東部分署	出場件数	312	1			25	4		81	1	2	191	7
		搬送人員	303				27	4		78	1	2	184	7
	月ヶ瀬分署	出場件数	102				10	2		19			69	2
		搬送人員	97				9	2		18			66	2
合　計		出場件数	21,102	45	0	7	1,256	174	123	3,685	63	182	13,659	1,908
		搬送人員	19,101	13	0	4	1,168	168	119	3,416	53	135	12,356	1,669

24　署別救急出場件数

（令和元年（平成３１年）中）



※各署件数は、分署との合計件数



25　月別救急出場状況

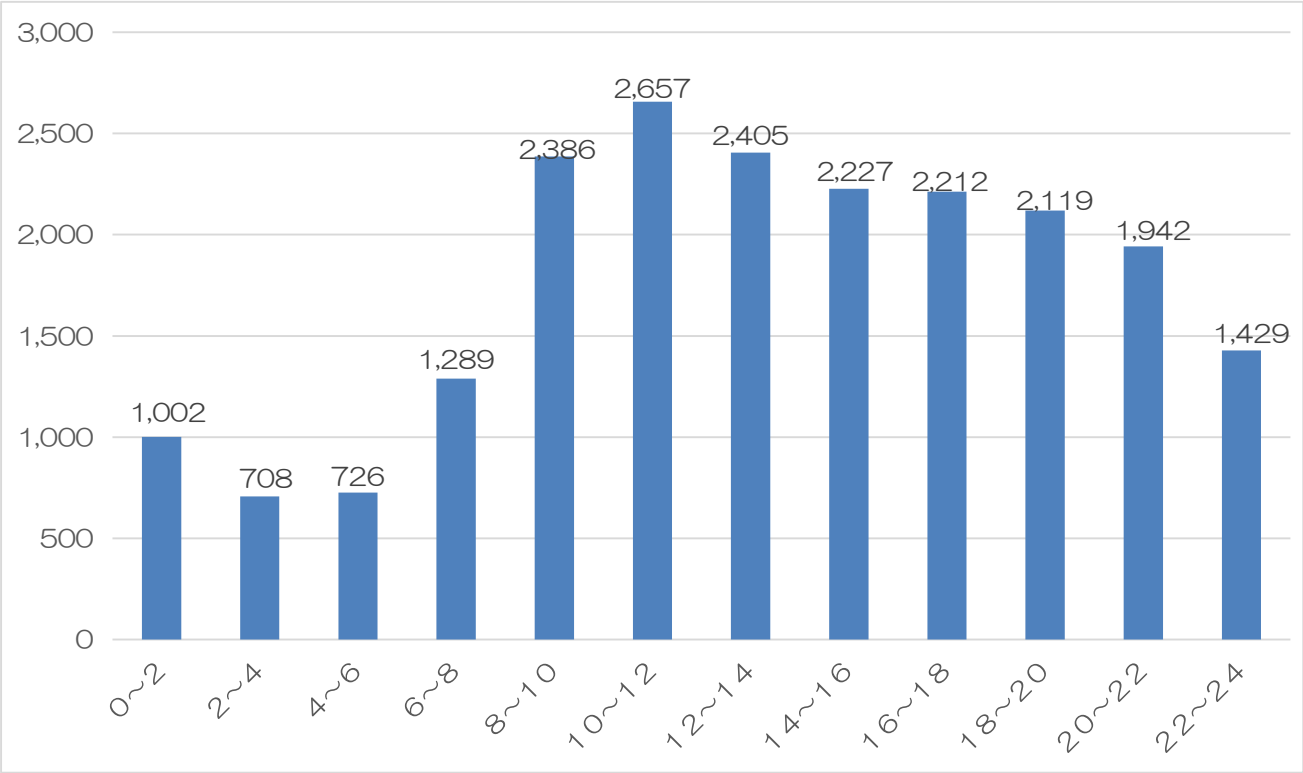
（令和元年（平成３１年）中）

月別	区分	計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	出場件数	21,102	45	0	7	1,256	174	123	3,685	63	182	13,659	1,908
	搬送人員	19,101	13	0	4	1,168	168	119	3,416	53	135	12,356	1,669
1月	出場件数	2,098	6			100	9	8	328	6	13	1,421	207
	搬送人員	1,895	1			97	9	9	302	5	7	1,283	182
2月	出場件数	1,618	6		1	95	12	13	285	4	11	1,046	145
	搬送人員	1,461	3			86	11	14	265	4	10	937	131
3月	出場件数	1,704	7		1	124	8	8	281	7	13	1,107	148
	搬送人員	1,512	2		1	116	7	8	253	6	9	986	124
4月	出場件数	1,663				116	8	7	270		10	1,059	193
	搬送人員	1,484				103	8	5	246		9	947	166
5月	出場件数	1,701	8			97	12	10	297	2	20	1,104	151
	搬送人員	1,562	2			93	12	10	284	1	18	1,007	135
6月	出場件数	1,657	1			89	17	13	292	6	21	1,077	141
	搬送人員	1,502				82	17	14	277	6	17	971	118
7月	出場件数	1,710	1			106	24	11	283	3	25	1,109	148
	搬送人員	1,562				97	23	12	268	2	17	1,020	123
8月	出場件数	1,894	1		2	90	22	16	302	9	13	1,284	155
	搬送人員	1,702			1	81	19	13	276	6	8	1,161	137
9月	出場件数	1,743	3		1	97	14	12	320	5	15	1,127	149
	搬送人員	1,594			1	92	14	11	301	4	11	1,027	133
10月	出場件数	1,666	3			110	13	4	305	6	9	1,066	150
	搬送人員	1,478				100	13	4	275	5	4	955	122
11月	出場件数	1,762	2		1	119	15	8	354	6	19	1,078	160
	搬送人員	1,615			1	115	15	8	327	5	15	987	142
12月	出場件数	1,886	7		1	113	20	13	368	9	13	1,181	161
	搬送人員	1,734	5			106	20	11	342	9	10	1,075	156

26　時間別救急出場状況

（令和元年（平成３１年）中）

事故種別 / 時間別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他
計	21, 102	45	0	7	1, 256	174	123	3, 685	63	182	13, 659	1, 683	174	0	51
0～2	1, 002	1			44	2		131	11	16	766	29			2
2～4	708	2			24	3		81	2	10	573	12			1
4～6	726	2			14			97	3	8	585	15			2
6～8	1, 289	6		1	83	12		194	4	5	965	16			3
8～10	2, 386	5		1	168	28	5	459	3	16	1, 518	151	27		5
10～12	2, 657	4			132	39	33	478	3	18	1, 501	392	48		9
12～14	2, 405	3		1	129	18	32	417	5	15	1, 378	360	44		3
14～16	2, 227	6		2	167	30	26	443	2	15	1, 249	235	47		5
16～18	2, 212	5		1	191	24	16	442	4	19	1, 276	220	7		7
18～20	2, 119	5			164	7	2	375	12	20	1, 400	127			7
20～22	1, 942	4		1	84	9	6	346	7	20	1, 367	94			4
22～24	1, 429	2			56	2	3	222	7	20	1, 081	32	1		3



27　傷病程度別搬送人員

（令和元年（平成３１年）中）

区分	事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	合計	19,101	13	0	4	1,168	168	119	3,416	53	135	12,356	1,669
	死亡	207	0	0	0	5	1	0	7	0	16	178	0
	重症	927	1	0	1	23	7	2	112	0	16	505	260
	中等症	9,235	2	0	2	215	50	36	1,203	12	65	6,366	1,284
	軽症	8,731	10	0	1	925	110	81	2,094	41	38	5,307	124
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
新生児	死亡	0					—	—			—		
	重症	1					—	—			—		1
	中等症	15					—	—			—	2	13
	軽症	4					—	—	1		—	3	
	その他	0					—	—			—		
乳幼児	死亡	0					—						
	重症	8				1	—		1			1	5
	中等症	133				3	—		18			84	28
	軽症	759	2			18	—		238			494	7
	その他	0					—						
少年	死亡	1									1		
	重症	8				2			1		1	2	2
	中等症	141	1			9		16	12		3	83	17
	軽症	596				103	1	43	93	5	3	346	2
	その他	0											
成人	死亡	28				3	1		1		9	14	
	重症	204	1		1	7	4	2	4		10	109	66
	中等症	2,188	1		2	118	35	20	160	8	58	1,465	321
	軽症	3,186	5			582	95	35	456	28	32	1,903	50
	その他	1											1
高齢者	死亡	178				2			6		6	164	
	重症	706				13	3		106		5	393	186
	中等症	6,758				85	15		1,013	4	4	4,732	905
	軽症	4,186	3		1	222	14	3	1,306	8	3	2,561	65
	その他	0											

※　網掛けにあっては該当なし

28　救急隊員の行った応急処置回数

（令和元年（平成３１年）中）

事故種別	処置／傷病程度	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法継続	除細動	血圧測定	心音等の聴取	血中酸素飽和度	心電図
合計	合計	465	446	38	0	336	2,844	412	332	1,115	22	35	18,154	1,618	18,868	7,576
	死亡	0	16	5	0	202	190	197	15	2	2	11	19	55	148	171
	重症	11	47	24	0	134	524	178	36	14	18	24	814	150	887	621
	中等症	87	158	9	0	0	1,860	34	176	220	2	0	9,114	918	9,192	4,210
	軽症	367	225	0	0	0	270	3	105	879	0	0	8,206	495	8,640	2,574
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
急病	計	70	30	27	0	277	2,164	348	232	50	21	32	11,695	1,255	12,208	6,057
	死亡		2	5		173	163	170	15		2	10	16	49	128	147
	重症	4	6	17		104	335	146	25	2	18	22	425	110	475	408
	中等症	13	9	5			1,427	30	125	25	1		6,295	753	6,337	3,382
	軽症	53	13				239	2	67	23			4,959	343	5,268	2,120
	その他															
交通事故	計	66	199	0	0	7	35	7	16	231	0	0	1,145	92	1,156	137
	死亡		3			5	4	5					1		2	2
	重症	5	16			2	12	2	3	5			21	9	21	15
	中等症	24	63				16		7	49			214	28	214	39
	軽症	37	117				3		6	177			909	55	919	81
	その他															
一般負傷	計	287	150	3	0	22	105	27	50	725	1	1	3,235	148	3,371	552
	死亡		1			7	7	7					2	2	6	7
	重症	1	8	1		15	26	16	4	5		1	102	10	111	26
	中等症	42	66	2			52	3	20	123			1,189	57	1,202	221
	軽症	244	75				20	1	26	597	1		1,942	79	2,052	298
	その他															
その他	計	42	67	8	0	30	540	30	34	109	0	2	2,079	123	2,133	830
	死亡		10			17	16	15		2		1		4	12	15
	重症	1	17	6		13	151	14	4	2		1	266	21	280	172
	中等症	8	20	2			365	1	24	23			1,416	80	1,439	568
	軽症	33	20				8		6	82			396	18	401	75
	その他												1		1	

29　救急救命士による特定行為実施状況

（令和元年（平成３１年）中）

応急処置＼事故種別	急病					交通事故					一般負傷					その他					合計					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	死亡	重症	中等症	軽症	その他	死亡	重症	中等症	軽症	その他	死亡	重症	中等症	軽症	その他	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
食道閉鎖式エアウェイ	51	42					1				3	7				3	5				57	55	0	0	0	112
気管挿管	11	11									1	4					1				12	16	0	0	0	28
心停止前静脈路確保		6	11	8			1					1					2				0	10	11	8	0	29
心停止後静脈路確保	59	53				3	2				6	10				6	9				74	74	0	0	0	148
薬剤投与	57	53	1			3	1				6	9				7	9				73	72	1	0	0	146
血糖値測定		6	23	14																	0	6	23	14	0	43
エピペン																					0	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与			8	8																	0	0	8	8	0	16

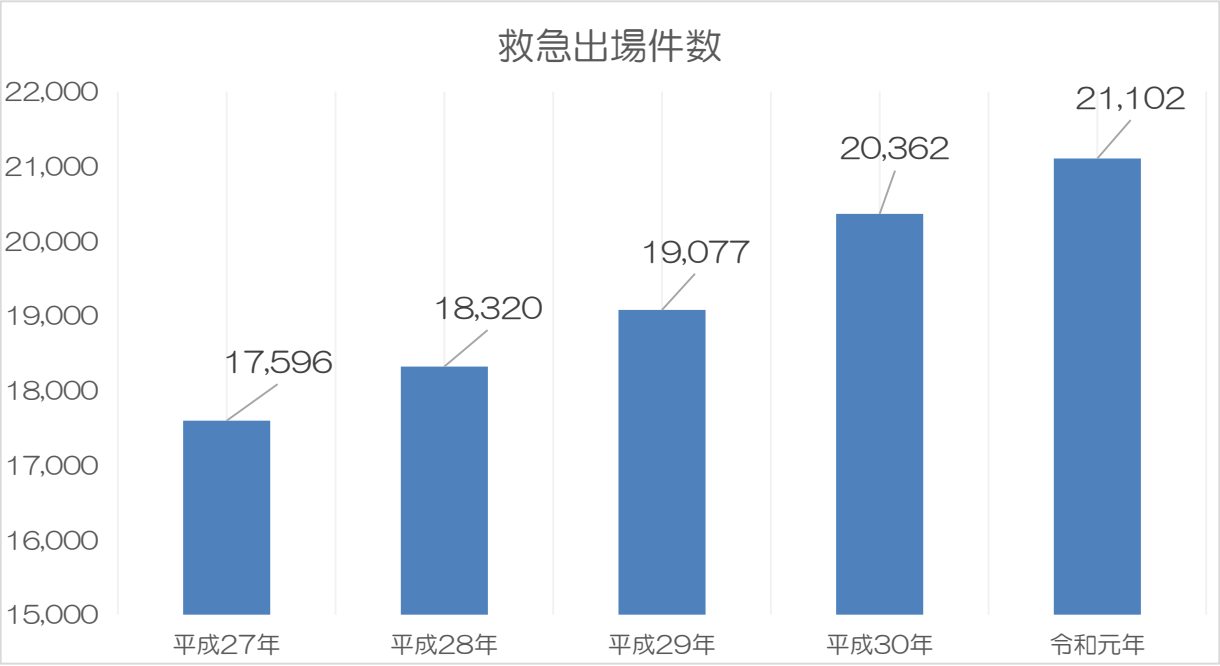
30　診療科目別搬送人員

（令和元年（平成３１年）中）

傷病程度別＼診療科目別	計	内科	小児科	一般外科	整形外科	脳外科	循環器科	消化器科	産婦人科	救急科	その他
計	19,101	6,850	978	1,313	2,394	2,051	840	314	146	492	3,723
死亡	207	68				1				87	51
重症	927	219	7	10	117	97	63	17	9	268	120
中等症	9,235	3,969	182	264	1,194	1,012	550	240	98	118	1,608
軽傷	8,731	2,594	789	1,039	1,083	941	227	57	39	19	1,943
その他	1										1

31　過去５ヵ年の事故別救急出場状況

区分	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成27年	出場件数	17,596	32	5	6	1,453	108	114	2,945	59	152	11,104	1,618
	搬送人員	16,148	9	5	2	1,455	108	114	2,717	57	105	10,130	1,446
平成28年	出場件数	18,320	36	2	1	1,396	144	112	3,020	74	174	11,532	1,829
	搬送人員	16,697	16	2		1,369	140	115	2,787	60	134	10,455	1,619
平成29年	出場件数	19,077	28	1	3	1,384	154	128	3,235	80	145	12,115	1,804
	搬送人員	17,249	8	1	2	1,343	149	132	2,975	68	115	10,896	1,560
平成30年	出場件数	20,362	52	3	4	1,208	165	113	3,437	68	150	13,151	2,011
	搬送人員	18,432	16	1	1	1,190	161	113	3,176	53	107	11,865	1,749
令和元年	出場件数	21,102	45		7	1,256	174	123	3,685	63	182	13,659	1,908
	搬送人員	19,101	13		4	1,168	168	119	3,416	53	135	12,356	1,669



救　助　関　係

「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練出発式」

32　救助概要

令和元年（平成３１年）中の救助出動件数は２６１件で、うち１２７件の救助活動により、１２７名を救助しています。

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は複雑多岐にわたるものとなり、救助における高度な知識と技術が要求されるものとなっています。

当市の救助体制は、南消防署に高度な救助資機材を導入した高度救助隊、中央消防署に特別救助隊、西消防署に専任救助隊、北・東各消防署に兼任救助隊を配置し、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全・安心に期しています。

また、国際消防救助隊員として６名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練・教養を実施し資質向上に努めています。

「瓦礫訓練施設での CSRM 連携訓練」

33　高度救助用資機材

高度救助隊・特別救助隊に配置している救助工作車Ⅱ・Ⅲ型に、ファイバースコープ等の探索機、熱画像直視装置等の高度な資機材を積載し、大地震で多発する崩壊現場に対応するため、地震警報器等を導入し装備の充実を図っております。

資機材名	特　　長
画像探索機（Ⅰ型） （ファイバースコープ）	生き埋め現場でカメラを空隙内に差込探索する。（ケーブルが自由自在に曲がる。Ⅱ型と比較して焦点距離が短い。）
画像探索機（Ⅱ型）	倒壊ビルの壁に穴を開けカメラを差込、室内等を探索する。（棒カメラを差込、Ⅰ型と比較して焦点距離が長く全体を観察出来る。）
水中探査装置	水難救助現場等、水中にカメラを入れ検索する。
地中音響探索機	地中聴音機で閉鎖された遭難者のノック信号を聞いて遭難者の位置を確認する。
電磁波探査装置	地震や土砂災害などで倒壊した建物や土砂などの下敷きになっている生存者を探索する。
熱画像直視装置	赤外線カメラである。暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
夜間暗視装置	超高感度暗視スコープで暗闇や煙の中で倒れている救助対象者を検索する。
地震警報器	軽量かつコンパクトでどこでも使用できるもので、地震の初期微動を検知し、大きな揺れになる前にいち早く警報を発するため、隊員等の安全管理に必要である。
充電式鉄線カッター	バッテリーを電源とするため、倒壊ビル等の狭隘な現場での移動及び操作が容易である。
小型マット型空気ジャッキ	小さな隙間に挟まれた救助対象者を救出するもので、従前の重装備に比べ軽量化になっている。
携帯用コンクリート破壊器具	油圧、空圧、空気式器具の使用できない現場での削岩破壊に使用する携帯器具である。
携帯用救助器具	救助作業は徒歩による移動が多いため必要な救助器具（オノ、金テコ、ショベル他）を携帯用に軽量化したもの。
救助用支柱器具	倒壊した建物等に閉じ込められた救助対象者を救助するために柱等支えるもので、空気を用いて遠隔操作で伸縮できる。

34　救助資機材

（令和２年４月１日現在）

分類	品名
一般救助用器具	かぎ付はしご 三連はしご 金属製折たたみはしご ワイヤはしご 空気式救助マット 救命索発射銃 救助用縛帯 平担架 ロープ カラビナ 滑車
重量物排除用器具	油圧ジャッキ 油圧スプレッダー 可搬ウインチ ワイヤーロープ マンホール救助器具 救助用簡易起重機 マット型空気ジャッキ一式 大型油圧スプレッダー 救助用支柱器具
切断用器具	油圧切断機 エンジンカッター ガス溶断器 チェーンソー 鉄線カッター 空気鋸 大型油圧切断機 空気切断機 ｺﾝｸﾘｰﾄ・鉄筋切断用チェーンソー
破壊用器具	万能斧 ハンマー 携帯用コンクリート破壊器具 削岩機 ハンマドリル
救助用器具	登山器具一式 バスケット担架

分類	品名
呼吸保護用器具	空気呼吸器（予備ボンベを含む。） 空気補充用ボンベ 酸素呼吸器（予備ボンベを含む。） 簡易呼吸器 防塵マスク 送排風機
隊員保護用器具	革手袋 耐電手袋 安全帯 防塵メガネ 携帯警報器 防塵マスク 陽圧式化学防護服 耐熱服 放射線防護服（個人用線量計を含む。） 耐電衣 耐電ズボン 耐電長靴 防毒衣
水難救助用器具	潜水器具一式 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 浮標 救命ボート 船外機
測定用器具	可燃性ガス測定器 有毒ガス測定器 酸素濃度測定器 放射線測定器 携帯型生物剤検知装置 携帯型化学剤検知機 化学剤検知紙
その他の救助用器具	投光器一式 携帯拡声器 携帯無線機 応急処置用セット その他の携帯用救助工具一式 緩降機 発電機

35　救助概況（前年との比較）

区分＼年別			令和元年（平成３１年）	平成３０年	比較 △減
出動件数			２６１	２０８	５３
事故種別	火災	建物	1	6	△5
		建物以外	0	0	0
	交通		５４	３９	１５
	水難		8	9	△1
	自然災害		0	0	0
	機械		0	7	△7
	建物		７９	８７	△8
	ガス・酸欠		0	0	0
	破裂		0	0	0
	その他		１１９	６０	５９
活動件数			１２７	１１５	１２
救助人員			１２７	１１２	１５
１ヶ月平均出動件数			２１．８	１７．３	４．５

36　署別救助出動状況

（令和元年（平成３１年）中）

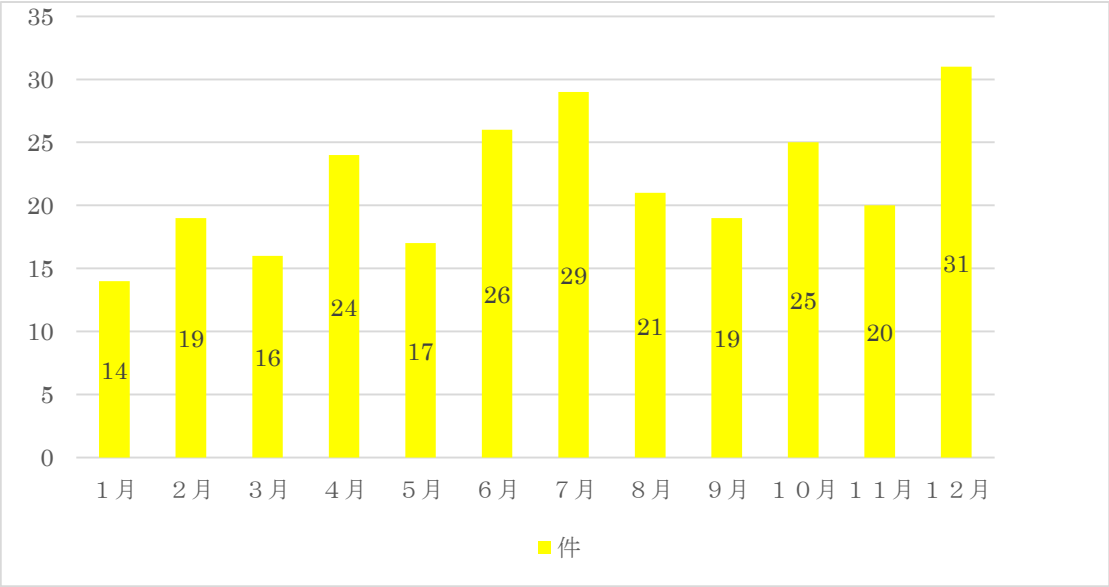
区分＼事故種別		計	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他
計	出動件数	261	1	0	54	8	0	0	79	0	0	119
	活動件数	127	1	0	24	6	0	0	73	0	0	23
	救助人員	127	1	0	28	6	0	0	73	0	0	19
	活動台数	196	1	0	43	13	0	0	102	0	0	37
	活動人員	741	7	0	164	46	0	0	378	0	0	146
中央消防署	出動件数	103			20	3			27			53
	活動件数	44			7	2			25			10
	救助人員	43			8	2			25			8
	活動台数	68			13	3			37			15
	活動人員	262			54	13			133			62
南消防署	出動件数	64	1		14	2			23			24
	活動件数	36	1		8	1			21			5
	救助人員	36	1		9	1			21			4
	活動台数	50	1		13	2			27			7
	活動人員	197	7		50	8			102			30
西消防署	出動件数	70			12	3			25			30
	活動件数	38			6	3			23			6
	救助人員	37			6	3			23			5
	活動台数	64			9	8			34			13
	活動人員	233			35	25			126			47
北消防署	出動件数	15			1				4			10
	活動件数	6							4			2
	救助人員	6							4			2
	活動台数	6							4			2
	活動人員	24							17			7
東消防署	出動件数	9			7							2
	活動件数	3			3							
	救助人員	5			5							
	活動台数	8			8							
	活動人員	25			25							

37　月別救助出動状況

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 月別	出動件数	事故種別 火災 建物	火災 建物以外	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	活動件数	救助人員
計	261	1	0	54	8	0	0	79	0	0	119	127	127
１月	14			3				8			3	9	8
２月	19			3	2			8			6	10	9
３月	16	1		3	1			5			6	8	8
４月	24			7				8			9	10	9
５月	17			3				6			8	11	12
６月	26			5				4			17	6	5
７月	29			9	1			4			15	10	10
８月	21			2	2			4			13	9	9
９月	19			6	1			5			7	6	8
１０月	25			3				6			16	12	11
１１月	20			4				5			11	12	13
１２月	31			6	1			16			8	24	25

月別救助出動件数



38　発生場所別救助出動状況

（令和元年（平成３１年）中）

事故種別 / 発生場所別			計	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他
計			261 (127)	1 (1)	0 (0)	54 (24)	8 (6)	0 (0)	0 (0)	79 (73)	0 (0)	0 (0)	119 (23)
屋内	住居		152 (83)	1 (1)						75 (70)			76 (12)
屋内	その他の屋内		7 (3)							4 (3)			3 (0)
屋外	道路	高速自動車国道	0 (0)										
屋外	道路	一般国道	52 (16)			45 (16)							7 (0)
屋外	内水面		9 (7)			1 (1)	8 (6)						
屋外	外水面		0 (0)										
屋外	山岳		0 (0)										
屋外	その他の屋外		26 (17)			7 (6)							19 (11)
地下			1 (1)			1 (1)							
その他			14 (0)										14 (0)

※（　）内は活動件数

予　防　関　係

「出初式にてジュニア防災クラブ」

39　防火対象物一覧

（令和２年４月１日現在）

用途＼署所別			合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
				小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	小計	本署	東部	月ヶ瀬
計			7,920	3,408	1,888	1,024	496	2,140	1,375	765	1,297	919	378	563	563	512	269	153	90
1	イ		7	6		6								1	1				
	ロ		214	59	23	16	20	43	31	12	50	30	20	18	18	44	12	21	11
2	イ		1	1	1														
	ロ		21	11	8	3		8	6	2	2		2						
	ハ		0																
	ニ		10	5	3	2		3	3		1	1		1	1				
3	イ		3	1	1			1	1							1			1
	ロ		559	293	193	72	28	110	74	36	71	46	25	50	50	35	12	8	15
4			330	135	81	30	24	96	77	19	41	28	13	46	46	12	7	1	4
5	イ		186	149	108	35	6	18	10	8	3	2	1	1	1	15	8	4	3
	ロ		2,670	893	457	359	77	985	571	414	562	432	130	218	218	12	11		1
6	イ	(1)	10	1	1			8	5	3	1		1						
		(2)	9	2	2			1	1		3	2	1	3	3				
		(3)	18	8	6	1	1	4	3	1	4	3	1	2	2				
		(4)	118	37	26	9	2	21	9	12	42	33	9	15	15	3	1	2	
	ロ	(1)	108	29	13	8	8	24	14	10	36	28	8	12	12	7	4	2	1
		(2)	1								1		1						
		(3)	0																
		(4)	7	1			1	2	2		1		1	2	2	1		1	
		(5)	21	7	3		4	6	5	1	3		3	3	3	2	1	1	
	ハ	(1)	63	18	7	7	4	17	14	3	19	13	6	7	7	2	1		1
		(2)	0																
		(3)	74	22	11	5	6	17	11	6	22	19	3	6	6	7	4	2	1
		(4)	14	1			1	6	5	1	4	3	1	3	3				
		(5)	94	46	15	10	21	20	11	9	17	8	9	4	4	7	2	5	
	ニ		41	14	7	4	3	11	8	3	11	8	3	2	2	3		3	
7			122	41	20	15	6	21	11	10	34	23	11	15	15	11	5	5	1
8			16	8	6	2		4	2	2	4	4							
9	イ		2					2	2										
	ロ		13	11	6	3	2	1	1							1			1

用途＼署所別		合計	中央消防署				南消防署			西消防署			北消防署		東消防署			
			小計	本署	佐保	南部	小計	本署	西大寺	小計	本署	富雄	小計	本署	小計	本署	東部	月ヶ瀬
10		6	1		1		1	1		2	1	1	2	2				
11		79	42	19	19	4	17	10	7	10	7	3	4	4	6	4	2	
12	イ	424	166	62	27	77	95	86	9	11	4	7	7	7	145	92	29	24
	ロ	2	2		2													
13	イ	62	50	33	14	3	7	7		4	3	1	1	1				
	ロ	2													2		2	
14		235	101	27	17	57	70	63	7	6	3	3	10	10	48	33	8	7
15		726	337	169	103	65	186	136	50	80	55	25	40	40	83	53	24	6
16	イ	1,159	646	433	174	39	213	126	87	188	122	66	68	68	44	16	19	9
	ロ	411	214	119	62	33	112	64	48	61	41	20	19	19	5		3	2
16の2		0																
16の3		0																
17		79	47	25	18	4	10	5	5	3		3	3	3	16	3	11	2
18		3	3	3														
19		0																
20		0																

40　用途別中高層建築物状況

(令和２年４月１日現在)

用途＼階数別			計	３階	４階	５階	６階	７階	８階	９階	１０階	１１階
計			3,591	1,519	737	835	200	117	97	60	17	9
1	イ		3	2	1							
	ロ		18	13	1	4						
2	イ		1				1					
	ロ		8	3	2	2	1					
	ハ		0									
	ニ		4	3	1							
3	イ		1	1								
	ロ		35	19	7	4	1	2	2			
4			34	23	7	2	2					
5	イ		68	24	21	6	6	4	5		1	1
	ロ		1,760	615	258	614	81	61	67	48	11	5
6	イ	(1)	9	4	3			2				
		(2)	3	2		1						
		(3)	13	2	5	5		1				
		(4)	27	23	3		1					
	ロ	(1)	51	27	16	6	1		1			
		(2)	0									
		(3)	0									
		(4)	1		1							
		(5)	4	3	1							
	ハ	(1)	10	3	4	3						
		(2)	0									
		(3)	11	10	1							
		(4)	1	1								
		(5)	10	8		1		1				
	ニ		3	2	1							
7			199	123	60	8	5	1	1	1		
8			3	2	1							
9	イ		0									
	ロ		1	1								
10			1	1								
11			20	17	2		1					

用途＼階数別		計	３階	４階	５階	６階	７階	８階	９階	１０階	１１階
12	イ	63	52	8	2		1				
	ロ	2	2								
13	イ	14	10	2	2						
	ロ	0									
14		35	23	10	2						
15		310	151	84	39	25	9	1	1		
16	イ	611	239	172	93	54	28	14	6	2	3
	ロ	256	109	65	41	21	7	6	4	3	
16 の 2		0									
16 の 3		0									
17		1	1								
18		0									
19		0									
20		0									

41　消防同意処理状況

（令和元年（平成３１年）中）

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
取扱件数	330	23	35	24	27	28	27	24	26	26	29	32	29
確認申請	269	19	31	19	23	23	24	22	24	19	21	20	24
許可申請	46	4	4	5	1	4	1	1	2	7	4	9	4
計画通知	15				3	1	2	1			4	3	1

42　過去５ヵ年の建築同意処理件数状況

年別 区分	令和元年 （平成３１年）	平成３０年	平成２９年	平成２８年	平成２７年
計	330	425	484	458	434
新　築	297	347	440	410	382
増　築	24	61	23	31	34
その他	9	17	21	17	18

43　消防法及び火災予防条例に基づく各種届出状況

（令和元年（平成３１年）中）

区分＼月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２
計	7,062	465	462	611	663	729	568	549	603	540	662	621	589
防火・防災管理者選任届	3								2			1	
防火・防災管理者解任届	0												
防火・防災管理者選解任届	1												1
統括防火・防災管理者選任届	0												
統括防火・防災管理者解任届	0												
統括防火・防災管理者選解任届	0												
消防計画（防火・防災）作成	1				1								
消防計画（防火・防災）変更届	7							1	1	1		1	3
全体についての消防計画（防火・防災）作成届	0												
全体についての消防計画（防火・防災）変更届	0												
工事期間中における消防計画作成届	8	1				1		3	1				2
自衛消防組織設置届	1												1
自衛消防組織変更届	8					1	2	1	1	1	1	1	
自衛消防訓練通知書	4	1	1						1	1			
消防訓練等実施計画通知届	1,893	118	141	168	142	175	177	102	142	160	189	226	153
管理権原者変更届出書	6			1	1		1	1		1	1		
管理権原者（防災）変更届出	2					1			1				
改善（計画）報告書	49	2	5	17	4	1	5	4	2	2	2		5
表示マーク交付（更新）申請	0												
見学通知書	5		1						1	1		2	
消防法令適合通知書交付申請（興行場）	1							1					
消防法令適合通知書交付申請（公衆浴場）	2			1									1
消防法令適合通知書交付申請（旅館）	22	1	2	3			2		6	4	2		2
禁止行為の解除承認申請届	70	5	1	6	11	10	10	3	3	8	4	3	6
劇場等の客席特例適用申請書	0												
指定建造物工事等届	2						2						
指定建造物防災施設設置届	0												
核燃料物質等取扱届（新規・変更）	0												
ヒートポンプ冷暖房機設置届	30					1	1		26	2			
ボイラー設置届	17		5		2		1	1		3	1	2	2
乾燥設備設置届	14		2	1	1	1	3	1	1	1		2	1
給湯湯沸設備設置届	7		1	1	1				1	1	1	1	
温風暖房機設置届	0												
炉設置届	3							2		1			
厨房設備設置届	0												
サウナ設備背設置	1											1	
蓄電池設備設置届	11		2	3	1		1		1		3		
発電設備設置届	9	3	1						2		1	2	
変電設備設置届	109	2	5	7	14	42	6	5	3	3	8	5	9

区分 ＼ 月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
防火対象物使用開始届	290	13	29	34	14	17	21	34	25	23	26	27	27
防火対象物点検結果報告	258	17	8	35	35	26	13	19	21	20	13	25	26
防火対象物点検報告特例認定申請書	15	1	2		1		2	1		3	1	4	
防災管理点検結果報告	15	3				3		4	2		1	2	
防災管理点検報告特例認定申請書	4											4	
消防用設備等設計届	202	13	17	10	19	19	13	23	17	15	14	16	26
消防用設備等設置届	589	32	45	68	31	45	44	45	70	43	59	54	53
消防用設備等着工届	338	26	34	19	35	35	16	29	34	31	28	25	26
消防用設備等点検結果報告届	2,420	187	120	208	278	305	179	212	157	144	253	175	202
消防用設備等特例申請書	7		1			1			3	1			1
意見書交付申請書	1				1								
共同防火管理協議事項変更届	1		1										
地下貯蔵タンク等在庫管理等に関する計画届	6							6					
完成検査前水張検査（他市設置）	64	8	6	1	4	2	10	4	5	5	3	8	8
軽微な変更届	69	3	7	5	10	9	2	6	3	8	7	8	1
完成検査申請（設置）	6									2	2	2	
完成検査申請（変更）	50	1	5	1	2	5	2	5	6	12	6	1	4
危険物施設廃止届	13	1			2		5			2		1	2
設置許可申請	7						2		2		2	1	
変更許可申請（種類・数量・倍数・位置等）	51	3	3	1	5	2	5	7	7	8	4	3	3
危険物仮貯蔵・仮取扱申請（仮取扱）届	7			2					2	1	1		1
危険物施設仮使用承認申請	49	3	3	1	5	2	5	7	7	8	3	3	2
危険物施設関係者住所氏名変更届	75	5	4	1	20	5	17	3	5	4	8	1	2
危険物施設使用休止・再開届（休止）	2	1			1								
危険物職務代行者選任解任届	19	1		1	2	4	1	4	3		1	1	1
危険物保安監督者選任解任届	41	3	2	2	3	5	10	3	2	1	1	1	8
譲渡引渡届	18	3		4	4			5			2		
予防規程認可申請（制定・変更）	19		1	1	1	7	2	2	2	1	2		
危険物取扱者選任解任届	3						1		1		1		
危険物品名・数量又は指定数量の倍数変更届	5	1		2			1						1
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱開始届	50		1	2	1	1	1		29	10	3	2	
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱廃止届	5			1	2		1		1				
指定可燃物・貯蔵取扱届出書	6				2					1	1	2	
指定可燃物・貯蔵取扱. 廃止届出書	4				1	1	1				1		
少量危険物・貯蔵取扱届出書	31	3	2		2			4	4	4	4	4	4
少量危険物・貯蔵取扱廃止届出書	31	4	4	4	4	1	3	1		3	2	4	1
ミニローリー・貯蔵取扱届出書	3					1							2
ミニローリー・貯蔵取扱廃止届出書	2												2
危険物施設等災害発生届	0												

44　類別、数量別危険物施設数

（令和２年４月１日現在）

製造所等の別 ＼ 区分			計	製造所	貯蔵所							取扱所			
					屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第一種販売	第二種販売	一般
施設数			466	7	86	27	15	124	0	47	5	95	1	0	59
数量別	５倍以下		214	1	54	8	7	52		43	2	18			29
	５倍をこえ１０倍以下		92	1	17	8	7	32			1	7			19
	１０〃 ５０〃		87	2	10	7	1	37		2	2	16	1		9
	５０〃 １００〃		23	1	1	4		1		2		12			2
	１００〃 １５０〃		6	1	2							3			
	１５０〃 ２００〃		6	1								5			
	２００〃 １０００〃		38		2			2				34			
類別	単独	第１類	2		2										
		第２類	0												
		第３類	0												
		第４類	456	6	78	27	15	124		47	5	95	1		58
		第５類	0												
		第６類	0												
	混在		8	1	6										1

45　危険物施設数及び各種許認可処理状況

（令和元年（平成３１年）中）

区分		計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第一種販売	第二種販売	一般
施設数		466	7	86	27	15	124	0	47	5	95	1	0	59
処理状況	計	298	17	26	17	66	27	0	3	0	120	0	0	22
各種許認可・届出状況	設置許可	8			1		1		1		3			2
	変更許可	47	5	1	3		6				27			5
	完成検査（設置）	6					2		1		1			2
	完成検査（変更）	47	5	1	3		6				27			5
	仮使用	49	5	1	3		6				29			5
	水圧検査	0												
	水張検査	64				64								
	品名・数量・倍数変更届	5		4			1							
	譲渡引渡届	18		2	2	1			1		10			2
	廃止届	13		3		1	4				5			
	保安監督者選解任届	41	2	14	5		1				18			1

46　奈良市所在の指定文化財等

（令和２年４月１日現在）

１　指定文化財　　９６１件　　【件数】

分類			国指定			県指定	市指定	総数
有形文化財	建造物 （）内は棟数		国宝 ３１ （３５）	重要文化財 ７４ （１２８）	計　※ １０４ （１６３）	４１ （８０）	２８ （３３）	１７３ （２７６）
	美術工芸品	絵画	６	２８	３４	１６	３８	８８
		彫刻	４９	１９６	２４５	３５	３４	３１４
		工芸品	２５	９８	１２３	１６	９	１４８
		書跡典籍 古文書	５	８５	９０	１１	４	１０５
		考古資料	４	６	１０	１	６	１７
		歴史資料		５	５	５	４	１４
	小計		国宝 １２０	重要文化財 ４９２	計　※ ６１１	小計 １２５	小計 １２３	小計 ８５９
無形文化財			重要無形文化財 １			１		２
民俗文化財	有形民俗文化財		重要有形民俗文化財 ２			２	７	１１
	無形民俗文化財		重要無形民俗文化財 ３			１０	３	１６
記念物	史跡		特別史跡 ２	史跡 ２５	計 ２７	５	８	４０
	名勝		特別名勝 ２	名勝 ６	計 ８			８
	天然記念物		特別天然記念物 １	天然記念物 ５	計 ６	６	１３	２５
小計			特史名天 ５	史名天 ３６	計 ４１	小計 １１	小計 ２１	小計 ７３
総数			６５８			１４９	１５４	９６１

※　有形文化財（建造物）の国指定の合計件数が国宝及び重要文化財の各件数の和と一致しないのは、１件に国宝・重要文化財の両方を含むものがあるためである。

※　他に独立行政法人国立文化財機構（住所東京都）が所有し奈良国立博物館及び奈良文化財研究所が保管する国宝１４件（絵画４、彫刻１、工芸品３、書籍・典籍３、古文書３）重要文化財１１７件（絵画４４、彫刻１６、工芸品１７、書跡・典籍１８、古文書１１、考古資料１０、歴史資料１）があります。

２　登録有形文化財　１０５件

建造物　　１０３件［３２箇所］
書跡・典籍　　１件
歴史資料　　１件

３　選定保存技術　　３件「国３件　県０件」

４　旧村指定文化財　　７２件「旧月ヶ瀬村指定文化財 30 件、旧都祁村指定文化財 42 件」

※国選定保存技術、県指定文化財、市指定文化財と重複している１２件を除く。

47　火災予防広報等活動状況

（令和元年（平成３１年）中）

区分 ＼ 月別	防火訓練等		電話パトロール	広報活動	消防庁舎施設見学		防火訪問
	回数	参加人員			回数	参加人員	一般家庭 ひとり暮らし
計	61	3,031	146	1,216	10	416	9,270
1	3	135		74	1	22	1,932
2	6	260		46			388
3	2	25	22	147	1	56	971
4	3	98	37	67	1	17	
5	5	287	5	91	1	85	
6	3	108	30	75	2	115	
7	1	8		66			
8	5	280		162			
9	10	485		79	1	79	
１０	9	573	14	39			45
１１	13	722	38	155	3	42	1,839
１２	1	50		215			4,095

48　女性防災クラブ・幼年消防クラブの現状

(1) 女性防災クラブ

（令和２年４月１日現在）

番号	クラブ名	クラブ員数	結成年月日
1	鶴舞地区	５０	S46.11.30
2	大柳生地区	５５	S49. 7.19
3	狭川地区	１０	S49. 8. 6
4	精華地区	２５	S50. 3.16
5	鳥見地区	８７	H 8. 6.13
6	朱雀地区	５０	H 9. 2.22
7	左京地区	８０	H 9.11.18
8	明治地区	７６	H10. 3.28
9	済美地区	６１	H10. 8.21
１０	済美南地区	９２	H11. 9.23
１１	鼓阪地区	７４	H11.11.23
１２	飛鳥地区	８２	H12. 4.16
１３	椿井地区	６９	H12. 4.26
１４	帯解地区	８８	H13. 5.20
１５	都祁地区	６３	H18.10.22
１６	東市	９２	H21. 3. 8
１７	伏見地区	１８	H26. 3.16
１８	平城	８０	H27. 3.12
１９	青山地区	９	H29. 3. 4
２０	奈良帝塚山地区	３１	H29. 3.11
２１	富雄南地区	４４	H30. 3. 4
２２	西大寺北地区	１５	H31. 2.22
２３	平城西地区	１７	R 2. 3.18
	計	１，２６８	

「出初式にて女性防災クラブ」

(2)　幼年消防クラブ

（令和２年４月１日現在）

名　　称		クラブ員数	結成年月日	所　　在　　地
計		２１３		
1	佐保山こども園	４８	S62. 6.11	奈良市法蓮町 1368 番地
2	学園前学園	３１	H 4. 6.19	奈良市中山町西三丁目 535 番地の 200
3	みずほ保育園	１７	H 5. 6.30	奈良市北登美ヶ丘六丁目 28 番地の 10
4	あいのそのこども園	１６	H10.10. 2	奈良市法蓮町 986 番地の 73
5	中登美こども園	４０	H10.10. 2	奈良市中登美ヶ丘一丁目 4162 番地
6	桜華保育園	２７	H22.11. 9	奈良市二名一丁目 2361 番地の 3
7	佐保川こども園	３４	H22.11. 9	奈良市法蓮町 393 番地

(3)　奈良市ジュニア防災クラブ

（令和２年４月１日現在）

名　　称	クラブ員数	結成年月日
奈良市ジュニア防災クラブ	２５	令和元年１１月９日

「幼年消防クラブ結成のつどい」

火　災　統　計

「文化財防火週間に伴う消防合同訓練」

49　火災概要

令和元年（平成３１年）中に発生いたしました火災件数は８２件で、前年（９６件）より１４件減少しました。

（1）火災種別ごとに見ますと、建物火災４３件、林野火災２件、車両火災１０件、その他の火災２７件となっており、前年と比較すると建物火災が１２件の減少、林野火災が３件の減少、車両火災が４件増加、その他の火災が３件の減少となっています。

出火原因別では、たばこと火入れが各６件で全体の各７．３％と多くなっています。その他の主な出火原因としては、電気機器と配線機器が各５件（６．０％）、ストーブと放火が各４件（各４．８％）となっています。

（2）建物焼損床面積は、１，２５５㎡で前年（２，１２４㎡）に比べ８６９㎡減少しました。

建物焼損表面積は、１９１㎡で前年（１９７㎡）に比べ６㎡減少しました。

林野焼損面積は、１３ａで前年（１５１ａ）より１３８ａ減少しました。

（3）死傷者の内、死者はなく前年（２名）より２名減少し、負傷者は９名で前年（１５名）より６名減少しました。

（4）損害額は、１５２，０１３千円で前年（２４５，５００千円）より９３，４８７千円減少しました。

（5）出火率（人口１万人当たりの出火件数）は、２．３で前年（２．７）と比べ０．４ポイント減少となりました。

（6）月別火災発生状況は、火災の多い月は５月が１７件で最も多く、次いで１０月の１０件で、少ない月は７月・９月の３件でした。

（7）建物火災の発生状況については、用途別にみると専用住宅１８件、共同住宅５件、併用住宅２件と住宅からの出火が建物火災全体の５８．１％を占めています。

主な出火原因では、電気機器５件（１１％）、こんろ・ストーブ各４件（各９．３％）となっています。

50　火災概況（前年との比較）

区分＼年別	令和元年（平成３１年）	平成３０年	比較　△減
出火件数	８２	９６	△１４
建物	４３	５５	△１２
林野	２	５	△３
車両	１０	６	４
その他	２７	３０	△３
焼損棟数	６７	８０	△１３
全焼	１１	１２	△１
半焼	３	８	△５
部分焼	３０	１８	１２
ぼや	２３	４２	△１９
建物焼損床面積（㎡）	１，２５５	２，１２４	△８６９
建物焼損表面積（㎡）	１９１	１９７	△６
林野焼損面積（a）	１３	１５１	△１３８
死傷者	９	１７	△８
死者	０	２	△２
負傷者	９	１５	△６
り災世帯数	５２	５８	△６
全損	７	１１	△４
半損	４	５	△１
小損	４１	４２	△１
り災人員	１１２	１４７	△３５
損害額（千円）	１５２，０１３	２４５，５００	△９３，４８７
建物	１３５，４０５	２４２，５２５	△１０７，１２０
林野	０	０	０
車両	１６，２４９	２，８６９	１３，３８０
その他	３５９	１０６	２５３
出火率（件）（人口１万人当たり）	２．３	２．７	△０．４

※　林野焼損面積（a）は１a未満は四捨五入にて算出、以下同様

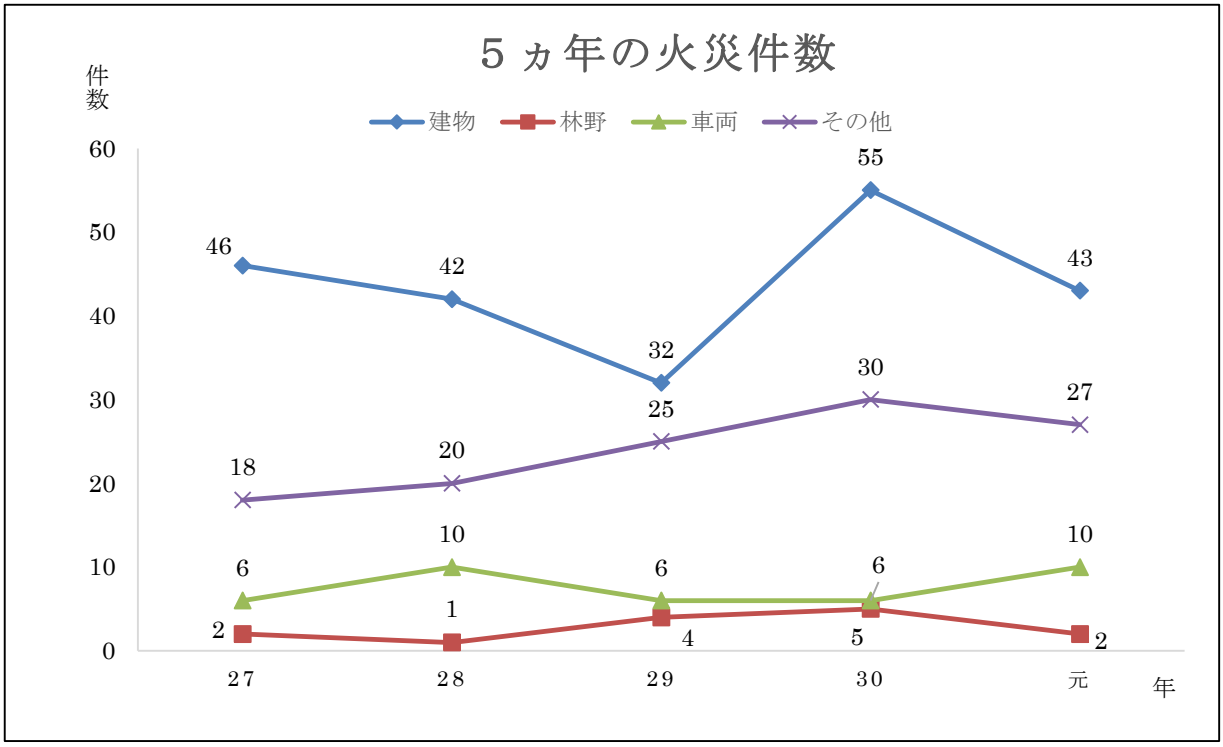
51　署別火災概況

（令和元年（平成３１年）中）

区分＼署別	計	中央署	南署	西署	北署	東署
出火件数	82	26	19	17	5	15
建物	43	9	11	13	5	5
林野	2	1				1
車両	10	4	2	1		3
その他	27	12	6	3		6
焼損棟数	67	17	13	24	5	8
全焼	11	3	1	4		3
半焼	3	1		1		1
部分焼	30	9	5	11	2	3
ぼや	23	4	7	8	3	1
建物焼損床面積（㎡）	1,255	404	119	398	38	296
建物焼損表面積（㎡）	191	4	8	78	3	98
林野焼損面積（a）	13			5		5
死傷者	9	3	4	1		1
死者	0					
負傷者	9	3	4	1		1
り災世帯数	52	10	12	25	2	3
全損	7	1	1	4		1
半損	4	1		3		
小損	41	8	11	18	2	2
り災人員	112	17	26	57	4	8
損害額（千円）	152,013	68,729	17,585	42,716	2,423	20,560
建物	135,405	53,611	16,898	42,656	2,423	19,817
林野	0					
車両	16,249	14,894	552	60		743
その他	359	224	135			

52　過去５ヵ年の火災状況

区分／年別	出火件数					焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死傷者		焼損面積			損害額（千円）
	計	建物	林野	車両	その他				死者	負傷者	建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（a）	
元	82	43	2	10	27	67	52	112	0	9	1, 255	191	13	152, 013
30	96	55	5	6	30	80	58	147	2	15	2, 124	197	151	245, 500
29	67	32	4	6	25	50	38	83	4	9	2, 311	211	90	441, 747
28	73	42	1	10	20	66	60	157	3	11	2, 185	549	68	161, 370
27	72	46	2	6	18	60	43	98	3	7	1, 247	67	1	144, 961



53　校区別火災状況

（令和元年（平成３１年）中）

区分 / 校区別	出火件数					焼損棟数	り災世帯数	り災人員	焼損面積			死傷者		損害額（千円）
	計	建物	林野	車両	その他				建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（a）	死者	負傷者	
総計	82	43	2	10	27	67	52	112	1,255	191	13		9	152,013
椿井	1				1									74
飛鳥	6	4		1	1	3	5	8						381
鼓阪	4	1			3	3			123	3			1	29,387
済美	0													
佐保	4			1	3									2,212
大宮	2	1			1	1	1	1		1			1	538
都跡	6	4			2	4	4	11	13	7			1	1,411
大安寺	0													
東市	3	1	1		1	1	1	1	16					1,740
平城	0													
辰市	2	2				2	2	4	1	1			3	1,619
明治	4	2			2	9	3	7	265				1	21,989
帯解	2			2										12,408
伏見	1			1		1								594
富雄南	3	1		1	1	1								186
富雄北	0													
田原	1	1				1				2				631
興東	4		1	1	2						8			5
柳生	0													
あやめ池	0													
鶴舞	1	1				1	1	1	10					2,727
鳥見	2	2				4	5	12	54	24				9,064
登美ヶ丘	3	2			1	2	3	7	42	2				8,159
六条	1	1				1	1	1	30					3,343
青和	4	2			2	2	2	4	4					2,271
右京	2	2				2			9		5			1
東登美ヶ丘	2	2				2	1	1	38					2,395
二名	2	2				2	2	6	3				1	497
西大寺北	1	1				1	1	5						4
富雄第三	1	1				1	1	1	1					643
平城西	0													
大安寺西	1				1									
三碓	3	1		1	1	1	1	1						26
神功	1	1				10	12	25	250	52				18,735
朱雀	0													
済美南	0													
鼓阪北	0													
伏見南	0													
佐保台	2	1			1	2	2	5	100					11,021
佐保川	1	1				1	1	3		3				16
左京	0													
月ヶ瀬	2	2				2								12
都祁	10	4		2	4	7	3	8	296	96			1	19,924

注）平成２９年４月１日以降、精華校区は帯解校区に、並松、吐山、六郷校区は都祁校区に統合

54　気象別火災状況

(1)風速別

（令和元年（平成３１年）中）

風速（m/s） 火災種別	計	0.0以上 1.0未満	1.0以上 2.0未満	2.0以上 3.0未満	3.0以上 4.0未満	4.0以上 5.0未満	5.0以上 6.0未満	6.0以上
計	82	5	26	19	7	13	6	6
建　物	43	4	15	12	3	5	1	3
林　野	2		1			1		
車　両	10	1	3	1		4	1	
そ の 他	27		7	6	4	3	4	3

(2)湿度別

（令和元年（平成３１年）中）

湿度（%） 火災種別	計	40未満	40以上 50未満	50以上 60未満	60以上 70未満	70以上 80未満	80以上 90未満	90以上
計	82	17	5	13	19	12	3	13
建　物	43	8	3	8	8	4	3	9
林　野	2					1		1
車　両	10	1	1	1	3	3		1
そ の 他	27	8	1	4	8	4		2

55　覚知方法別火災状況

（令和元年（平成３１年）中）

覚知方法別 火災種別	計	火災報知 専用電話	加入電話	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他
計	82	58	3	4		14	3
建　物	43	30	2	2		8	1
林　野	2	1	1				
車　両	10	8				1	1
そ の 他	27	19		2		5	1

56　曜日別火災状況

（令和元年（平成３１年）中）

曜日別 火災種別	計	日	月	火	水	木	金	土
計	82	14	7	11	17	13	10	10
建　物	43	3	5	6	12	7	5	5
林　野	2	1				1		
車　両	10		2	2	2	2	2	
そ の 他	27	10		3	3	3	3	5

57　覚知時間別火災状況

（令和元年（平成３１年）中）

火災種別 / 覚知時間別	計	建　物	林　野	車　両	そ の 他
計	82	43	2	10	27
0 時～1 時	1				1
1 時～2 時	1				1
2 時～3 時	1	1			
3 時～4 時	1	1			
4 時～5 時	0				
5 時～6 時	4	2	1	1	
6 時～7 時	2	2			
7 時～8 時	1	1			
8 時～9 時	3			2	1
9 時～10 時	9	6		1	2
10 時～11 時	4		1		3
11 時～12 時	7	4		1	2
12 時～13 時	4	1			3
13 時～14 時	4	3			1
14 時～15 時	8	2		1	5
15 時～16 時	7	5			2
16 時～17 時	7	2		2	3
17 時～18 時	4	3			1
18 時～19 時	7	5		2	
19 時～20 時	1	1			
20 時～21 時	2	1			1
21 時～22 時	2	1			1
22 時～23 時	2	2			
23 時～24 時	0				

※　0 時～1 時は 0 時を含め 1 時は含まない、以下同様

58　月別火災状況

（令和元年(平成３１年)中）

区分	出火件数					焼損件数					り災世帯数				り災人員	死傷者		焼損面積			火災別損害額（千円）				
月別	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		死者	負傷者	建物床(㎡)	建物表(㎡)	林野(a)	計	建物	林野	車両	その他
1月	8	5	1		2	6			3	3	5			5	16		1	5	10		2,118	2,056			62
2月	7	3		2	2	4			2	2	3			3	9		3	7	5		3,084	2,485		532	67
3月	7	6			1	6	1		2	3	5	1	1	3	11			144			16,308	16,230			78
4月	4			1	3	0					0										25			25	
5月	17	8		1	8	16	6	1	8	1	4	1		3	9		2	483	3	5	56,274	55,211		989	74
6月	5	2		2	1	3	1			2	1			1	1			100	57		6,879	4,652		2,227	
7月	3	2			1	2				2	3			3	3						17	17			
8月	4	2			2	2			2		1		1		1			16	2	8	2,371	2,371			
9月	3	2			1	4	1	1	2		3	1		2	7			148	29		15,047	15,039		8	
10月	10	5		1	4	5			3	2	6	2		4	15			42	9		8,653	8,522		60	71
11月	8	4	1	1	2	4			1	3	3			3	3		1		1		753	672		74	7
12月	6	4		2		15	2	1	7	5	18	2	2	14	37		2	310	75		40,484	28,150		12,334	
計	82	43	2	10	27	67	11	3	30	23	52	7	4	41	112		9	1,255	191	13	152,013	135,405		16,249	359
昨年計	96	55	5	6	30	80	12	8	18	42	58	11	5	42	147	2	15	2,124	197	151	245,500	242,535	0	2,859	106
比較△減	△14	△12	△3	4	△3	△13	△1	△5	12	△19	△6	△4	△1	△1	△35	△2	△6	△869	△6	△138	△93,487	△107,120	0	13,330	253

59　用途別・原因別火災状況

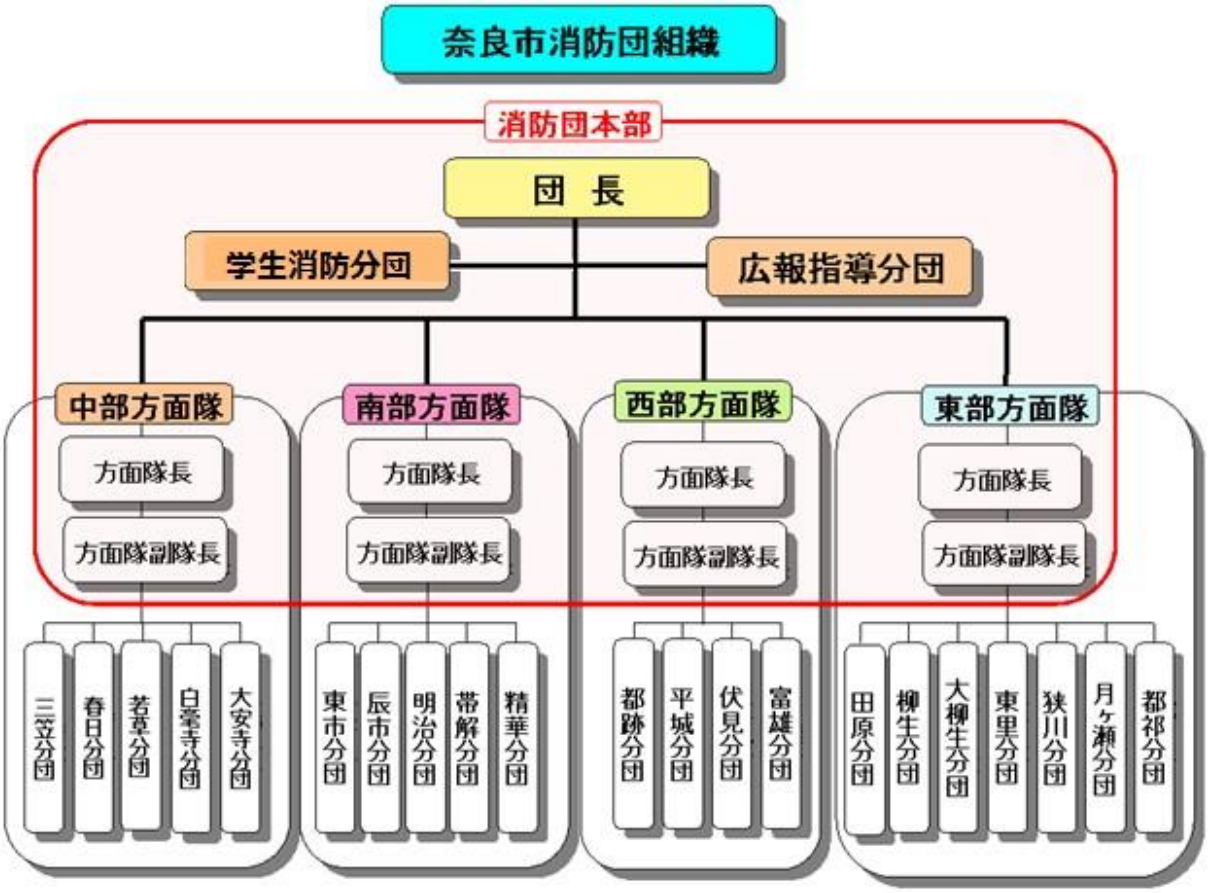
（令和元年（平成３１年）中）

火災種別	原因別／用途別	合計	たばこ	こんろ	かまど	風呂かまど	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機関	配線器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	溶接機・切断機	灯火	衝突の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中
合計		82	6	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	5	0	1	1	5	0	2	1	0	1	2	0	6	4	3	15	22
建物	小計	43	2	4					4					3		1		5		1			1			1	2	2	6	11
	専用住宅	18		1					2					1		1		1					1				1	1	3	6
	併用住宅	2		1														1												
	共同住宅	5	1	1					1																				1	1
	劇場	0																												
	公会堂	0																												
	キャバレー	0																												
	遊戯場	0																												
	料理店	0																												
	飲食店	0																												
	物品販売店舗	0																												
	旅館	0																												
	病院	0																												
	社会福祉施設	0																												
	幼稚園	0																												
	学校	1												1																
	図書館	0																												
	特殊浴場	0																												
	公衆浴場	0																												
	停車場	0																												
	神社・寺院	0																												
	工場	1																											1	
	スタジオ	0																												
	駐車場	0																												
	航空機格納庫	0																												
	倉庫	0																												
	事務所	1																												1
	複合用途特定	0																												
	複合用途非特定	0																												
	地下街	0																												
	準地下街	0																												
	文化財	0																												
	その他	15	1	1					1					1				3		1						1	1	1	1	3
林野		2																												2
車両		10												2			1							2					2	3
その他		27	4																	1	1					5	2	1	7	6

消　防　団　関　係

「全国女性消防操法大会訓練始め式」

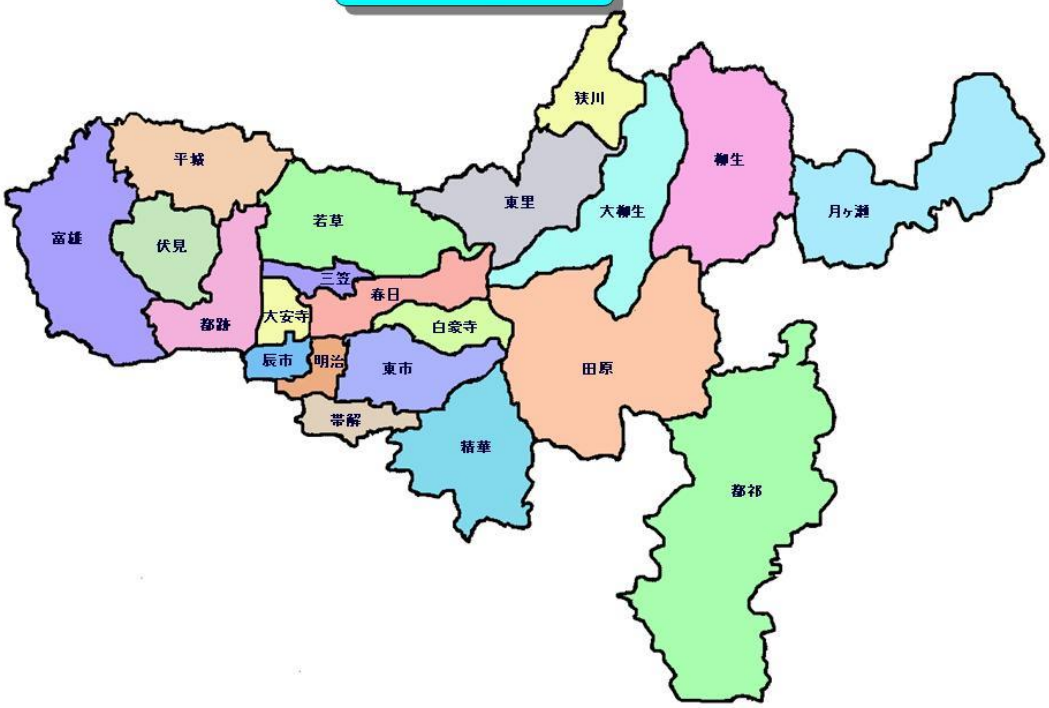
60　奈良市消防団の組織



「奈良市消防出初式放水演習」

方面隊別管轄図

分団別管轄図



61　消防団員の階級別定員数

消　防　団　員　の　配　置　編　成

（単位　人）

階級別 / 分団別		団長	方面隊長	方面隊副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
消防団本部		1	4	9						14
	広報指導分団				1	1	2	2	34	40
	学生消防分団								30	30
中部方面隊	三笠分団				1	1	2	3	13	20
	春日分団				1	1	2	3	13	20
	若草分団				1	1	2	3	20	27
	白毫寺分団				1	1		1	7	10
	大安寺分団				1	1	2	3	18	25
南部方面隊	東市分団				1	1	2	3	23	30
	辰市分団				1	1	2	3	23	30
	明治分団				1	1	2	3	23	30
	帯解分団				1	1	2	3	23	30
	精華分団				1	1	2	3	33	40
西部方面隊	都跡分団				1	1	3	5	20	30
	平城分団				1	1	2	3	23	30
	伏見分団				1	1	2	3	23	30
	富雄分団				1	2	5	6	46	60
東部方面隊	田原分団				1	2	5	5	88	101
	柳生分団				1	2	6	6	66	81
	大柳生分団				1	2	5	5	54	67
	東里分団				1	1	2	2	36	42
	狭川分団				1	1	2	2	31	37
	月ヶ瀬分団				1	2	5	5	55	68
	都祁分団				1	3	11	11	112	138
計		1	4	9	22	29	68	83	814	1,030

62　消防団員の新任状況

（令和２年４月１日現在）

階　級	新　任 団員数	新　任　団　員　数　の　う　ち								新任団員数のうち41歳以上の再入団員数
		21歳未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上	
団　員	59	2	4	7	13	12	6	6	9	8
班　長										
部　長										
副分団長										
分団長										
副団長										
団　長										
合　計	59	2	4	7	13	12	6	6	9	8

（学生消防団員を除く）

63　消防団員の退職状況

（令和２年３月３１日現在）

階　級	退職消防 団　員　数	退　職　消　防　団　員　数　の　う　ち						
		在　職　年　数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団　員	37	6	14	8	6		3	
班　長	5			1	2	1	1	
部　長	16		4		9	1	2	
副分団長	2				1	1		
分団長	5					2	2	1
副団長								
団　長								
合　計	65	6	18	9	18	5	8	1

退　職　事　由								
自己都合	定年など	傷　病			死　亡			整理統合
			公　務	その他		公　務	その他	
65	—	—			—			—

64　在職年数別消防団員数

（令和２年４月１日現在）

在職年数		5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
団　員　数	958	252	211	239	149	76	20	11

（学生消防団員を除く）

65　消防団員の職業状況

（令和２年４月１日現在）

職業構成																
農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス熱供給・水道業	運輸通信業	飲食店 卸売・小売業	保険 金融業	不動産業	サービス業	公務（他に分類されないもの）			分類不能の産業	その他
												国家公務員	地方公務員	特殊法人等公務員に準ずる職員		
45	2		2	131	165	44	52	108	25	12	189	1	63	37	4	78

（学生消防団員を除く）

「ファーストエイド研修」

66　消防団員の表彰状況

（令和元年（平成３１年）中）

表彰別＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
消防庁長官表彰								
消防庁長官永年勤続功労章			1					1
日本消防協会精績章			2					2
日本消防協会勤続章								
日本消防協会功績章								
県知事表彰			1	2	5	1	1	１０
県消防協会長表彰			1	1	6	4	2	１４
奈良市有功者表彰			4		1			5
奈良市功労者表彰			3	3	3	3		１２
奈良市長表彰			2	1	3	9	１８	３３
消防団長表彰					2	2	３６	４０
合計			１４	7	２０	１９	５７	１１７

「若草山焼き行事に伴う警備」

67　消防団員の出動状況

（令和元年（平成３１年）中）

計（人員）	出動別				
	水火災出動	警戒出動	訓練出動	機械器具点検出動	その他出動
	566	314	712	194	6,936

68　消防団機械器具等配備状況

（令和２年４月１日現在）

区分	分団別	防災活動車	救助資器材搭載型車両	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	積載車	機械器具		
							簡易デジタル無線機	背負式消火水のう	布水槽
計		1	1	1	107	96	209	176	103
消防団本部		1	1		1		13		
中部方面隊	三笠				2	1	6		2
	春日				4	2	7		1
	若草				1	1	6		1
	白毫寺				1	1	4		1
	大安寺				2	2	6	4	2
南部方面隊	東市				9	9	10		2
	辰市				4	2	6	2	2
	明治				6	6	5		3
	帯解				7	7	7		7
	精華				4	4	6	7	4
西部方面隊	都跡				1	1	6		1
	平城				3	3	8	11	4
	伏見				1	1	6		1
	富雄				4	4	12		4
東部方面隊	田原			1	15	13	16	36	18
	柳生				6	6	15	21	9
	大柳生				7	6	15	35	6
	東里				8	6	14	18	11
	狭川				3	3	10	8	4
	月ヶ瀬				7	7	13	14	9
	都祁				11	11	18	20	11

69　消防団員の報酬、費用弁償

階　　級	職　　名	報酬年額（円）
団　　長	団　　長	350,000
副 団 長	方 面 隊 長	270,000
分 団 長	方面隊副隊長	160,000
	分　団　長	145,000
副分団長	副 分 団 長	88,000
部　　長	部　　長	65,000
班　　長	班　　長	55,000
団　　員	団　　員	50,000

出　動　種　別	１回あたりの費用弁償額（円）
水　火　災	4,000
警　　戒	3,000
訓　　練	2,500
機械器具点検	2,000
そ　の　他	2,000

※１回の出動時間が引き続き４時間を超えるときは、４時間に達するごとに１回とする

「第２４回全国女性消防操法大会」

表紙写真提供：薬師寺

裏表紙イラスト：中谷 有香さん

中谷 有香（なかたに ゆか）さんプロフィール

奈良市在住。紙芝居作家。
奈良を中心に創作紙芝居や奈良市の昔話を人々に伝える活動をしている。

「住宅用火災警報器」の設置は消防法の改正により義務化されています。

～　住警器！　設置のつぎは　維持･管理　～

りにまね

奈良市八条五丁目４０４番地の１
奈良市消防局　総務課
TEL　０７４２－３５－１１９９
FAX　０７４２－３３－８４３６
E-mail shoubou-soumu@city.nara.lg.jp